

第二次金山町子ども読書活動推進計画



有屋小学校：図書委員の読み聞かせ

令和4年3月
金山町教育委員会

目 次

巻 頭 金山町教育長あいさつ

I	計画策定に向けて	1
II	計画の基本方針	2
III	計画の目標値	3
IV	子どもの読書活動のための方策	
1	環境づくり	4
2	人づくり	5
3	広報・啓発	7
	金山町子ども読書活動推進計画 全体構造図	9
	「適時適育」の理念を踏まえた家庭教育・読書活動の推進	10

資料編目次

	認定こども園めぐたま園児保護者へのアンケート結果	1
	町内全小学校児童保護者へのアンケート結果	6
	町内全小学校児童へのアンケート結果	11
	金山中学校生徒へのアンケート結果	16
	山形県立新庄南高等学校金山校生徒へのアンケート結果	21

第二次金山町子ども読書活動推進計画策定に寄せて

金山町教育委員会教育長 須藤 信一

絵本の読み聞かせの活動に、校長時代から参加させていただいています。退職後も読み聞かせサークルのメンバーとして、週に1～2回行っています。読み聞かせをやる魅力は、なんといっても子どもたちの真剣な眼差しです。物語の世界にどっぷりと入り込んでいる表情は、なんとも言えないかわいらしさです。そんな子どもたちに向き合っていると、こちらまで感動してしまうことが多々あります。

自分が子どもの頃を思い出してみると、寝る前に昔話を聞かせてもらった程度で、本に親しむ機会はありませんでしたし、小・中学生時代にも、あまり読書をした経験がありません。テレビが急速に普及した時代でもありましたし、本に親しむ環境に恵まれなかったことも、一因かもしれません。

本をよく読むようになったのは、大人になって必要性に気づいてからだったように思います。今では、小説もよく読むようになり、好きな作家の作品はほとんど読むなど、本の世界にどっぷりと浸る機会が多くなり、趣味の一つにもなっています。

私たちの時代に比べると、今の子どもたちの読書環境は、ここ十数年で格段に整備されてきました。学校での本の貸し出しの管理がPCになったり、図書室がとても魅力的な空間になったりしています。本の好きな子も増えています。これらには、図書支援の活動が大きく寄与しています。

しかしながら、私たち世代のテレビの急速な普及による影響のように、最近の子どもたちには、ゲームやスマホ依存の影響が強く表れてきています。こうした子どもたちを取り巻く環境の変化により、読書環境も変化してきています。この度、5年ぶりに「子ども読書活動推進計画」を見直すことになり、アンケートを実施しましたが、学校での読書環境の整備が進んだ一方で、家庭での読書離れの傾向が顕著に表れるアンケート結果となりました。

アンケート結果を踏まえて、これまでの取組について見直しを行い、令和4年度から5年間の取組について「第二次子ども読書活動推進計画」を策定し、具体的な方策をまとめたところです。

令和4年度は、小学校が1校に統合され、園・小・中・高が一つずつの新たな体制となります。また、中央公民館の機能が改善センターに移行することにもなります。新たな体制での読書活動を推進していくこととなります。計画を策定するにあたってご尽力をいただいた策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました皆様に感謝申し上げます。

町のいろいろな場で読書活動が推進され、本の大好きな子どもたちが生き生きと学び合う環境づくりを町民の皆様とともに進めていきたいと思っております。

I 計画策定に向けて

1 子どもの読書活動の現状

家庭・地域・学校・行政の各機関が連携し、読書を通じて子どもたちの豊かな心と言葉を醸成するとともに、変化する時代を主体的に「生きる力」を育むために、読書活動を推進することを目的に「金山町子ども読書活動推進計画」を平成28年度に策定しました。5年が経過して、この計画をもとに読書活動を推進してきた成果を把握し、課題を整理するために「金山町読書活動推進に関するアンケート」を実施しました。

アンケート結果から、90%以上の園児がお家で本を読んでおり、園児保護者の80%が子どもと一緒に本を見たり読んだりしています。マタニティの頃からの読み聞かせ、その後もブックスタートやこども園でのおはなし会など、その年齢に合った絵本や形態での働きかけを行っています。

また、児童生徒（小学生から高校生まで）の約80%は「本を読むことが好き」と答えており、前回実施アンケート結果と同じ水準です。また、1か月間にまったく本を読まない児童生徒の割合（不読率）は、前回実施アンケート結果と比べると、中学生は少し増加しましたが、小学生・高校生は減少しています。特に高校生は大幅に減少しており、全国平均と比べても低い数値を示しています。小中学校では、児童生徒への読み聞かせや本を扱った時間を設置するなど継続して行っています。また、新庄南高金山校では、図書委員や学校司書の先生の積極的な活動や生徒への働きかけを行っており、これらの効果と推察されます。

園・小・中・高でいろいろな読書活動の取組を行っている一方、家庭内での本や読書に関する興味が高くないことがアンケート結果から見とれます。園児保護者の67%、小学生保護者の61%がほとんど読書をしていないという結果で、園児保護者は前回実施アンケート結果と比べると増加しています。家庭内での読書に関する温度差が「うちどく」を深められないことに関係していると思われ、子どもの成長過程での読書活動にも係わってくると考えられます。

アンケート結果からの成果と課題、また読書や本を取り巻く現状を踏まえ、人生を豊かに生きるために欠かすことのできない読書活動をより推進できるよう推進計画の一部を改訂します。

2 策定の目的

子ども一人一人が自主的に読書に親しむことができる環境づくりを総合的に進めていくため、「第二次金山町子ども読書活動推進計画」を策定します。

3 計画の対象

生まれる前の胎児期からおおむね18歳の子どもとその保護者、子ども読書活動の推進に関わる保護者・ボランティア・一般・教員・行政の関係者を対象とします。

4 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とし、4年目に計画の進捗状況を踏まえ見直しを行います。

また、第4次山形県子ども読書活動推進計画が示された際には、その計画を基本とした計画に修正を図ります。

5 計画の位置付け

この計画は、「金山町子ども読書活動推進計画」の進捗状況から分かる成果と課題を踏まえ、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて策定された国の「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（平成30年4月）」と「第3次山形県子ども読書活動推進計画（平成29年3月）」を念頭に、「第5次金山町総合発展計画」、「適時適育」（※1）、「かねやま子育て応援プラン」との整合性を図り、子どもの読書活動の推進に関する総合的な計画として策定します。

※1 「適時適育」は、金山町教育の基本方針であり、家庭教育目標の中に「一人ひとりを尊重しながら豊かな心と言葉、健やかな身体を育てる」として読書活動推進が含まれています。

II 計画の基本方針

1 基本目標

園・小・中・高の継続した取り組みを中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、読書を通じて子どもたちの豊かな心と言葉、変化する時代を主体的に「生きる力」を育むため、環境づくり・人づくり・広報と啓発を基本方針として、子どもの読書活動を推進する。

2 基本的な方策

(1) 環境づくり

家庭・地域・学校・図書館・行政が連携し、子どもがいつでも読書に親しみ楽しむことができるような場所・機会を提供するための環境を整備する。

(2) 人づくり

家庭や学校等における子どもの読書活動を推進し、子どもの発達段階に応じた読書に対する興味関心を高め、進んで読書を楽しみ活用できる能力を育てる。

(3) 広報・啓発

子どもの読書活動について広報・啓発活動を進め、広く町民の理解を図る。

Ⅲ 計画の目標値

以下の図表のように目標数値を定め、目標を達成するための取り組みを行います。

図表Ⅰ 不読率の比較と数値目標

	小学生	中学生	高校生
金山町 平成28年度	7.1%	16.2%	26.5%
全国平均 平成29年度	5.6%	15.0%	50.4%
金山町 現状：令和3年度	4.8%	18.0%	10.0%
金山町 目標：令和8年度	0.0%	0.0%	0.0%

出典：平成28年度 金山町読書活動推進に関するアンケート

(社)全国学校図書館協議会・(株)毎日新聞社による第63回学校読書調査

令和3年度 金山町読書活動推進に関するアンケート

※不読率＝1か月に1冊も本を読まなかった「不読者」の割合

図表Ⅱ 保護者の読み聞かせ及び読書の現状と数値目標

	平成28年度	令和3年度 現状	令和8年度 目標
家庭で週1回以上の読み聞かせをする 家庭で週1回以上、一緒に本を読む (園児の保護者)	72%	80.4%	100%
年に1冊以上保護者の方が読書をする (園児の保護者)	41%	33%	70%
年に1冊以上保護者の方が読書をする (小学生の保護者)	35.3%	38.9%	60%

出典：平成28年度、令和3年度 金山町読書活動推進に関するアンケート

IV 子どもの読書活動のための具体的方策

1 環境づくり

① 現状と課題

家庭・地域・学校・図書館・行政などが連携し、子どもがいつでも読書に親しむことができる場所や機会を提供するための環境が必要と考えます。

認定こども園めぐたま保護者のアンケート結果から、子供と一緒に絵本を見たり、読んだりすることがほとんどないという家庭が20%あります。親と子が一緒に本を見たり読んだり、子どもが親の愛情を感じ取り、絵本の世界を体験することで感情が豊かになる大事な時間です。全家庭でこの時間を持ち、この時間を増やしていく事を目標とします。

学校の図書室を利用しているかについて、小中学生は学年が上がるにつれ利用しない割合が高くなっています。新庄南高金山校生については、前回アンケート結果と比較すると、ほとんど行かない割合が大きく減少しています（H29は75.0%、R3は45.0%）。これは本を借りるだけではない居場所づくりや授業での図書室利用、金山校生への働きかけなどの成果と考えられます。利用しやすい図書室への環境整備、図書室からの情報発信などで、児童・生徒の本への興味につながると考えます。

町内図書館については、開館時間や立地条件の問題、そもそも利用していいのかわからない、利用方法がわからないなどの理由で、利用していない割合が70%を占めています。町内図書館にはたくさん絵本やいろいろな分野の本が揃っており、老若問わず利用できるようになっています。保護者の本に対する興味につなげるため、町内図書館の利用を促進します。

家族と本や読書について話題にするかというアンケート結果から、年齢が上がるにつれ話題にすることが少なくなっていることがわかります。小学生になると自分で本を借りたり買ったりということが多くなり、本について話すことも少なくなりますが、保護者が本や読書に興味を持ち、家に本があるという環境が家庭を巻き込んだ読書活動の推進につながると考えます。

マンガや雑誌については、小学生・中学生と学年が上がるにつれて読んでいる割合が高くなっています。マンガや雑誌も本であり、内容も素晴らしいものもあるので、マンガや雑誌をきっかけに他の本に興味を持ってもらうような工夫を考えていきたいです。

電子書籍で本を読んだことがある割合は高校生が一番多く、60%の生徒があると回答しています。園児保護者のアンケートでもタブレットで絵本を読んでいるという回答もあり、これからもっと多くなると思います。電子書籍を取り巻く状況を見守っていききたいです。

② 推進の方向性

- ・学校図書室の整備と充実を図り、図書室からの情報発信に努めます。
- ・園小中高では、継続して読書をしやすい環境を整えます。
- ・町内図書館の利用促進を図ります。
- ・森の子ども図書コーナーでは、貸出活動、創作活動を引き続き行い、より充実した活動を目指します。
- ・家庭内に本があり、本に親しみのある環境を目指します。
- ・本に興味を持つきっかけを作ります。
- ・マタニティの方には、絵本を通して読み聞かせの楽しさを知ってもらい、母親とお腹の赤ちゃんに心の安定を図る取り組みをします。
- ・中央公民館図書室では、本の選定の工夫、より良い利用方法の検討、利用しやすい環境の整備に努めます。

③ 具体的な取り組み

- ・マタニティ教室での読み聞かせ
- ・ブックスタート
- ・親子ふれあい「読み聞かせ・お話会」
- ・学校図書支援活動
- ・図書支援ボランティアによる環境整備
- ・学校司書の設置
- ・学校図書委員の活動、情報発信
- ・学校活動や授業での図書室の利用促進
- ・こども園図書整備活動
- ・森の子ども図書コーナー整備
- ・町内図書館（室）連携体制の構築
- ・中央公民館図書室の蔵書選定、環境整備
- ・中央公民館図書室移動図書継続



森の子ども図書コーナーで

2 人づくり

① 現状と課題

子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、乳幼児期からの読み聞かせの必要性や効果的な取り組み、発達段階に応じた読書のあり方などについて理解を深めることが求められます。

「おはなしサークル きつねのボタン」の活動では、こども園でのおはなし会、支援センター利用者・小中学生への読み聞かせなど、その年齢に見合った内容で行っています。

こども園では、園児が毎日過ごす中で、読み聞かせを活動の中に組み込んだり、最初の導入の段階で紙芝居を読んだり、園児が絵本などに触れることの楽しさを知ることができるよう努めています。

認定こども園めぐたま保護者のアンケートでは、

○子供と一緒に絵本を見たり、読んだりすることがほとんどない家庭が 20%

○子供と一緒に書店や図書館に行ったことがほとんどない家庭が 36%

○子供の本を買ったり、図書館で本を借りたことがほとんどない家庭が 20%

という結果となっています。家庭での本への興味が、子どもたちのこれからの本や読書との係わりに深く関わってくると考えます。乳幼児期から本に親しみ、本の楽しさを知ることができるよう取り組んでいきます。

各小中高生のアンケートでは、

○本が「どちらかというと嫌い」または「嫌い」

→小学生 17.8% 中学生 20.3% 高校生 15.0%

※平成 29 年 1 月実施アンケート結果 小学生 17.5% 中学生 22.4%
高校生 16.2%

○1 か月で読んだ本が 0 冊（不読率）

→小学生 4.8% 中学生 18.0% 高校生 10.0%

※平成 29 年 1 月実施アンケート結果 小学生 7.1% 中学生 16.2%
高校生 26.5%

○学校の図書室にほとんど行かない

→小学生 14.4% 中学生 45.3% 高校生 45.0%

※平成 29 年 1 月実施アンケート結果 小学生 13.3% 中学生 52.3%
高校生 75.0%

○家で本をほとんど読まない

→小学生 29.3% 中学生 32.8% 高校生 30.0%

※平成 29 年 1 月実施アンケート結果 小学生 24.2% 中学生 40.8%
高校生 39.7%

という結果となっています。各学校で読書活動推進に取り組んでおり、前回結果と比較すると上記割合が低くなっている項目が多いですが、ほとんどが小幅な変動です。上記割合がさらに低くなるよう取り組みを継続していきます。

家族の方が読書をほとんどしていないという割合は、

○認定こども園めぐたま園児保護者では 67.0%

(平成 29 年 1 月実施アンケートでは 59.0%)

○金山町内小学生保護者では 61.1%

(平成 29 年 1 月実施アンケートでは 62.9%)

でした。家庭での読み聞かせ推進や小学校では保護者を巻き込んだ取り組みを行っていますが、習慣的には定着していないのが現状です。仕事や日々のことでなかなか読書の時間が取れない、町内図書館が利用しづらいなどの理由があると思われます。保護者や一般の方が読書に親しみを持ってもらう 1 つとして、町内図書館の利用促進が上げられ、利用しやすい環境の整備、興味を引くような企画展の開催など情報を発信していきたいと考えます。

② 推進の方向性

- ・家庭での読み聞かせの促進、家庭を巻き込んだ読書活動を推進します。
- ・絵本やお話を通して、心と身体が触れ合うことの楽しさや心地よさを感じられる時間を過ごせるようにします。
- ・子供たちが絵本に親しみ触れる機会を多くし、読み聞かせ等の豊かな読書体験の実現を図ります。
- ・本を読む楽しさを知って、興味を持ってもらえるように工夫し、読書活動を行っていきます。
- ・こども園、小学校、中学校における読み聞かせの継続、取り組みを推進します。
- ・広く町民の理解を図るため、町の読書活動に関する取り組みの積極的な紹介、興味を引く図書企画展や紹介など、情報発信に努めます。
- ・誰もが気軽に本を手にする場所を提供します。

③ 具体的な取り組み

- ・親子ふれあい「読み聞かせ・お話会」
- ・子育て支援センター、マタニティ教室での読み聞かせ活動
- ・こども園、小中学校における読み聞かせ活動
- ・朝読書、親子読書、読書ゆうびん、ビブリオバトルなどの実施
- ・学級への学級文庫の配置
- ・図書の選定の工夫、図書に関する紹介やおたよりの発行などの情報発信
- ・年齢に合った本の紹介など、児童・生徒への働きかけ
- ・読書活動に関する学習会や視察研修の開催
- ・読書活動及び家庭教育にて参加型事業を開催する
- ・絵本作家講演会や森図書子どもまつりなど多くの人を集めるイベントの開催
- ・おはなし会の開催
- ・出張図書室の開催
- ・中央公民館図書室および森の子ども図書コーナーの積極的な貸出活動

3 広報・啓発

① 現状と課題

あらゆる活動の場面で、チラシやおたよりの配布・ポスターの掲示・広報誌の掲載など広報・啓発活動を行っています。

町内図書館を利用しているかというアンケート結果で、「利用していいかわからなかった」「利用方法がわからない」という回答がありました。町内図書館の基本情報の発信も必要であると考えさせられました。

認定こども園めぐたま園児保護者への、おはなし会や絵本に関するイベントに興味はあるかというアンケート結果は、

○興味があり行ったことがある割合が 23.7%

(平成 29 年 1 月実施アンケートでは 41.0%)

○行ったことはないが興味はある割合が 62.9%

(平成 29 年 1 月実施アンケートでは 24.0%)

○興味がない割合が 13.4% (平成 29 年 1 月実施アンケートでは 35.0%)

でした。この 2 年間のコロナ禍の状況を反映しているのか行ったことがある割合が減少していますが、興味があり行ってみたいと思っている割合が大きく増加しています。絵本から飛び出し、大きな画面で絵本の世界を体験でき、身体を使っても体験できる、たくさん子どもたちに体験して欲しいことであり、その興味に応えられるような催し物を企画していきます。

② 推進の方向性

- ・町内図書館の情報、町の読書活動に関する取り組みを積極的に発信していきます。
- ・多くの人に興味を持てるような図書の選定、展示や企画展を考えます。
- ・新たな読書層のすそ野を広げるためのきっかけづくりとなる事業を開催します。
- ・保護者へ読書活動の啓発普及を行います。

③ 具体的な取り組み

- ・季節に合った企画展示、新刊本や年齢に合った本の紹介
- ・広報誌での町内図書館情報や読書活動推進の紹介
- ・おはなし会やイベントの開催
- ・本を借りた人への特典付けなど、本を借りて楽しい工夫



中央公民館図書室企画展

基本方針・・・「適時適育」と連携した読書活動の推進

【家庭教育目標】

一人ひとりを尊重し
豊かな心と言葉、健やかな身体を育てる

- ① 一人ひとりの発達に沿った「適時適育」を関係機関と連携して推進
- ② 子どもの成長を見守り、親の育ちを促すような学習機会の提供
- ③ 家族がお互いを慈しみ、町ぐるみで子育て支援を推進する体制の構築
- ④ 美しい言葉・美しい心の醸成
- ⑤ さまざまな体験、文化活動などを通じた、心豊かな「金山人」の育成



家庭教育・読書推進の連携

基本目標

園・小・中・高の継続した取り組みを中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、読書を通じて子どもたちの豊かな心と言葉、変化する時代を主体的に「生きる力」を育むため、次の3つを基本方針として、子どもの読書活動を推進する

基本方針

おもな取り組み・内容など

- ① 関係機関の施設整備 … 町内小学校・中学校、高等学校、森の子ども図書、中央公民館図書室
⇒ より読書に親しむことのできる環境づくり、森の子ども図書の充実、小中学校の図書館整備 など
- ② 家庭での取り組み … 絵本やおはなしを通して、言葉がけの大切さや心と身体が触れ合うあたたかな楽しい時間を過ごす
⇒ マタニティ教室での読み聞かせ、ブックスタート、親子ふれあい読み聞かせ・おはなし会 など
- ③ こども園での取り組み … 保育・教育活動内での読み聞かせを通して感性の発達や情緒安定を図り、子どもの育ちから保護者の育ちを促す
⇒ 保育・教育活動における日常的な読み聞かせ、おはなし会、図書の整備活動、保護者への働きかけ など
- ④ 学校での取り組み … 小学校：読み聞かせや学習活動を通じて読書への興味関心を高めるとともに、読書の楽しさや学習意欲、豊かな心を育てる
中学・高校：読書を日常に取り入れ、自分自身や周りの世界を理解するとともに、情報活用や自己の意欲向上に繋げる
⇒ 読み聞かせ・朝読書、学校図書支援活動、小・中・高・中央公民館図書 間の交流活動（図書・人） など
- ⑤ 地域での取り組み … 家庭やこども園、学校の読書活動が更に充実するよう環境整備を行うとともに、関係事業との連携を図る
⇒ 森の子ども図書・中央公民館図書室・小中高図書館との連携体制の構築、出張図書室の開催 など
- ⑥ 中央公民館図書室・森の子ども図書の取り組み … それぞれの特性を最大限に活かし、魅力ある公共図書室づくりを行う
⇒ 特性に見合った蔵書選定・管理、教育機関への貸出機能の構築、季節ごとの企画展示、新刊展示・情報手に取ってみたいくなる図書づくり（リンクエスト・補修・ブックカバーかけ） など
- ⑦ 読書活動の推進の関係者への取り組み … すべての関係者が共通認識のもと、子どもと保護者へ働きかけるための体制づくりを行う
⇒ 教職員・ボランティア・行政関係者：読書推進に関する学習会や視察研修の開催
保護者・その他家族・地域：既存の事業（読書活動および家庭教育）にて参加型事業を開催し、家庭での定着を目指す
- ⑧ 広く市民の理解を図るための取り組み … 町の読書活動推進に関する取り組みの積極的な紹介、関心が持てるような図書の展示や選書の工夫を行うとともに、新たな読者層のすそ野を広げるためのきっかけづくりとなる事業を開催する
⇒ 町広報誌などを活用した読書推進活動の紹介、読書週間や季節のイベントなどの企画展示、絵本作家講演会 など

「適時適育」を念頭に置き、発達段階に応じた継続的な働きかけ

環境づくり

人づくり

広報・啓発

資料編

令和3年度 金山町読書活動推進に関するアンケート

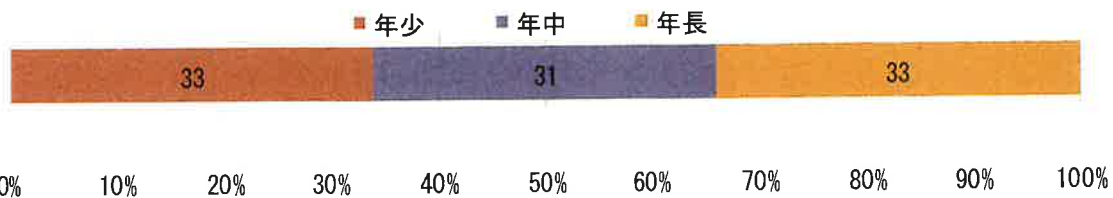
アンケート実施期間：令和3年10月27日（水）～11月12日（金）

認定こども園めぐたま園児保護者へのアンケート結果	1
町内全小学校児童保護者へのアンケート結果	6
町内全小学校児童へのアンケート結果	11
金山中学校生徒へのアンケート結果	16
山形県立新庄南高等学校金山校生徒へのアンケート結果	21

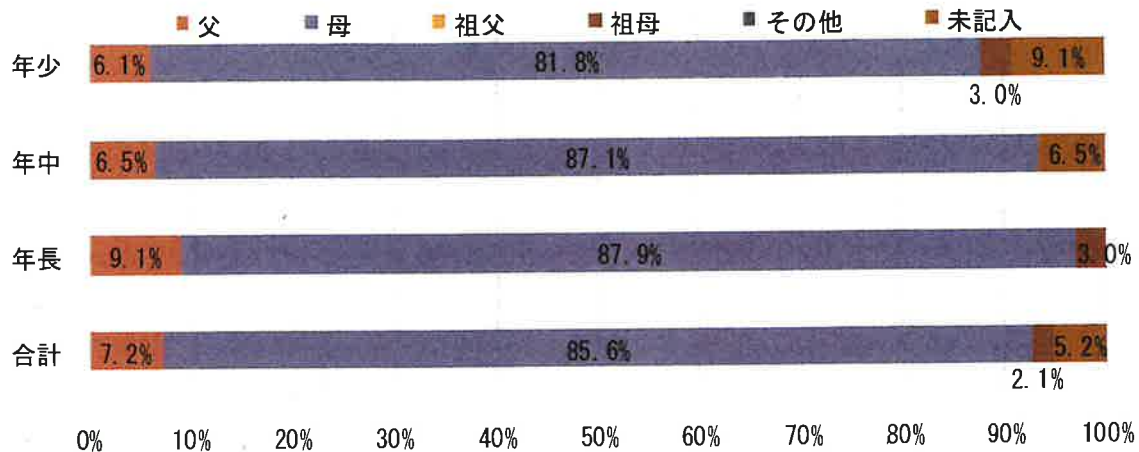
認定こども園めぐたま園児保護者

読書に関するアンケート（108名中97名回答 回答率 89.8%）

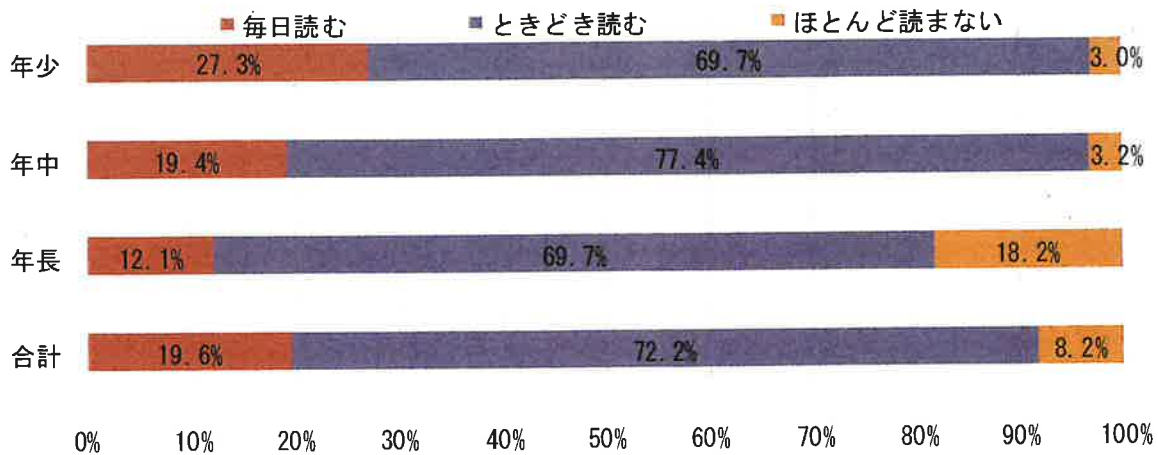
◆お子さんは？



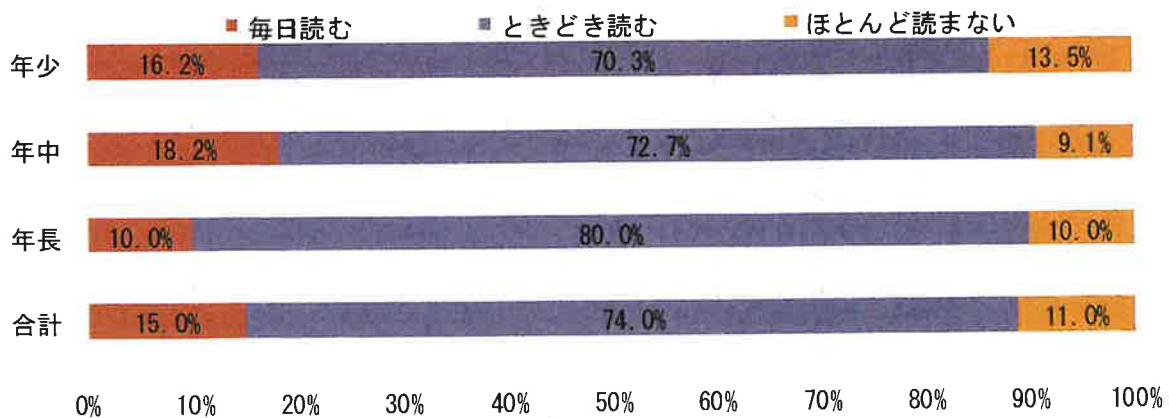
◆お子さんとの続柄を教えてください



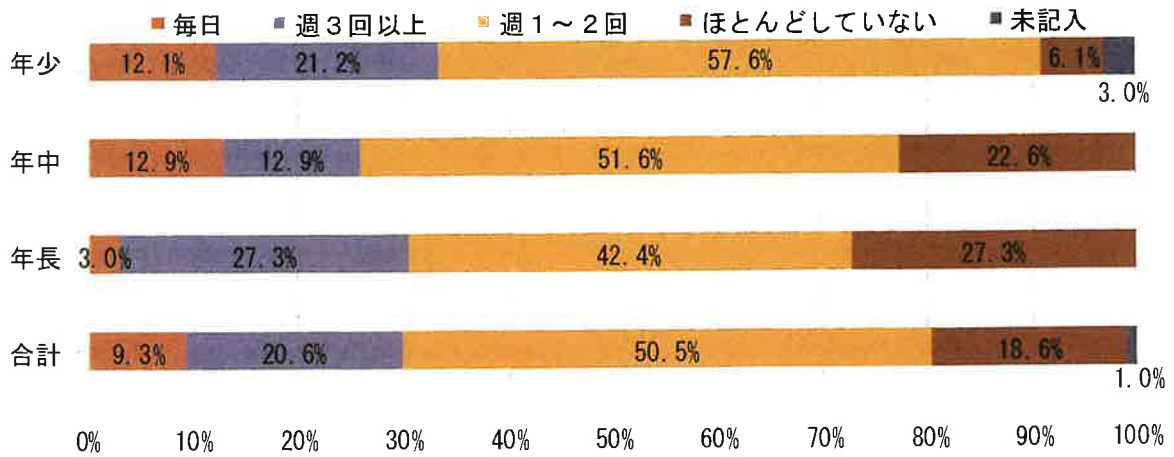
1. お子さんは、どのくらい本を読みますか。



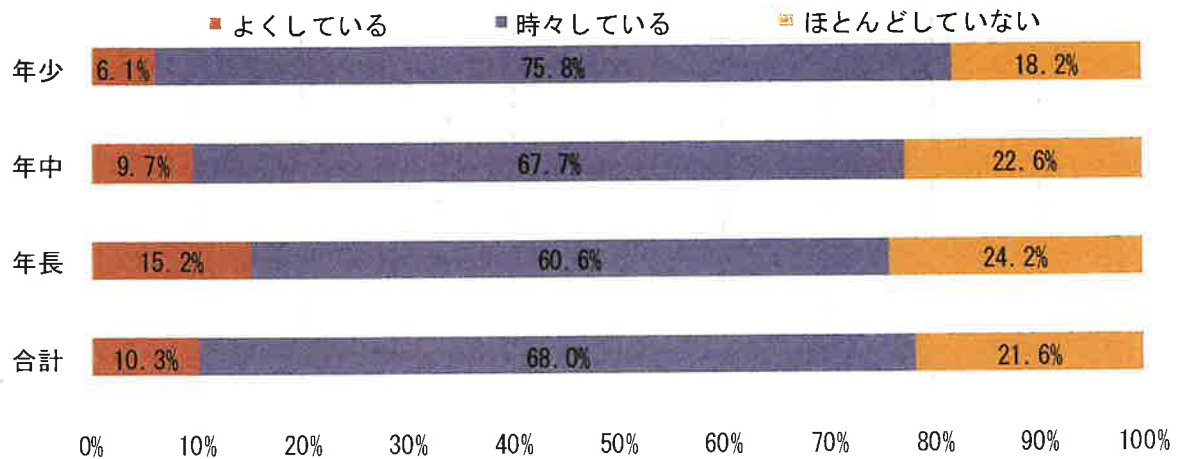
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



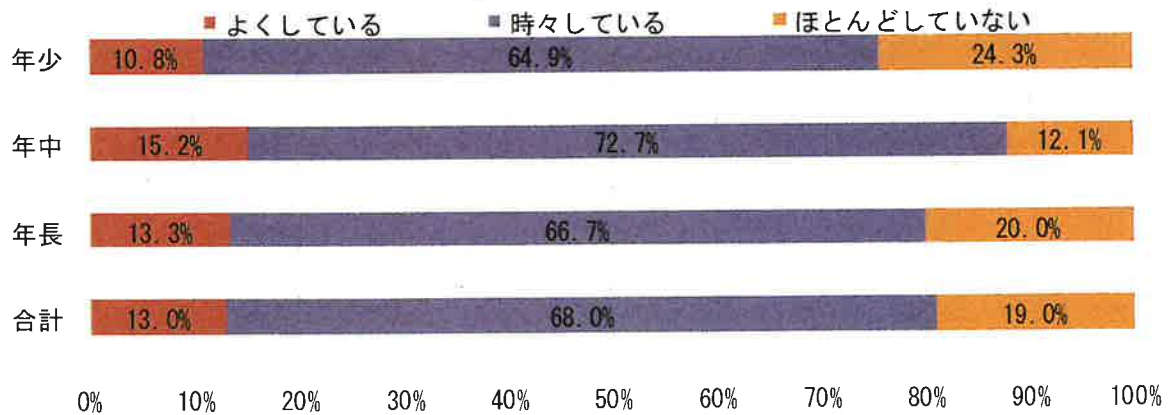
2. お子さんと一緒に本を見たり、読んだりすることはありますか。



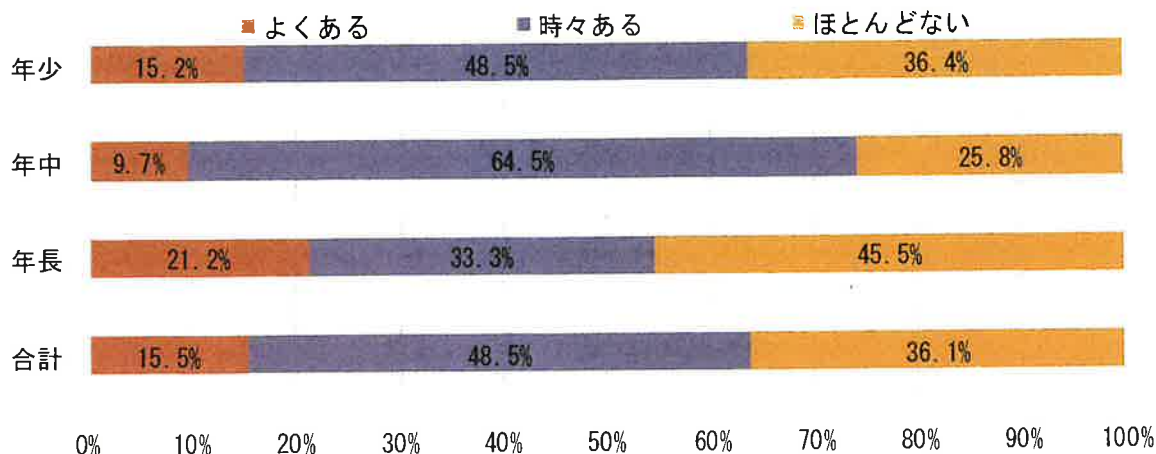
3. 家庭内で、絵本などについてお子さんと話題にしていますか。



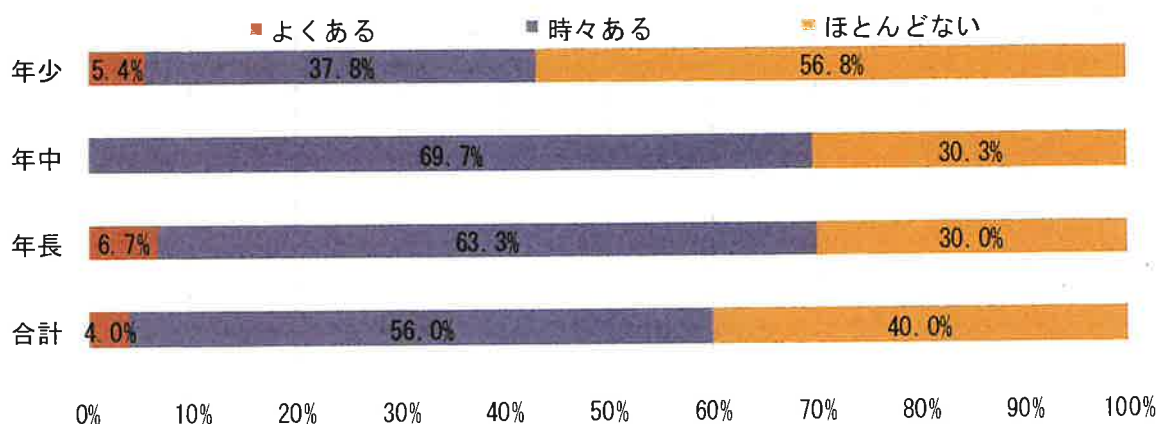
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



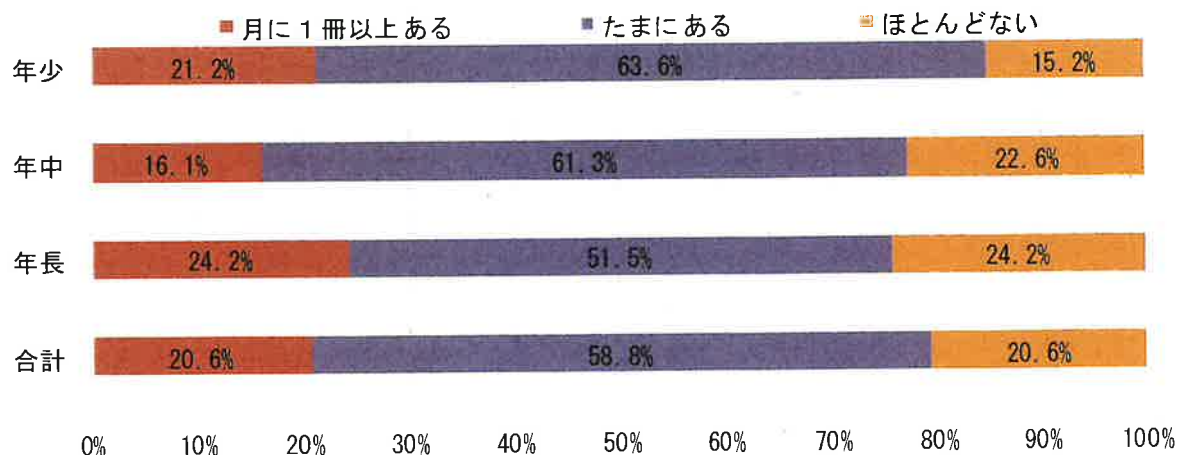
4. 今までに、お子さんと一緒に書店や図書館に行ったことはありますか。



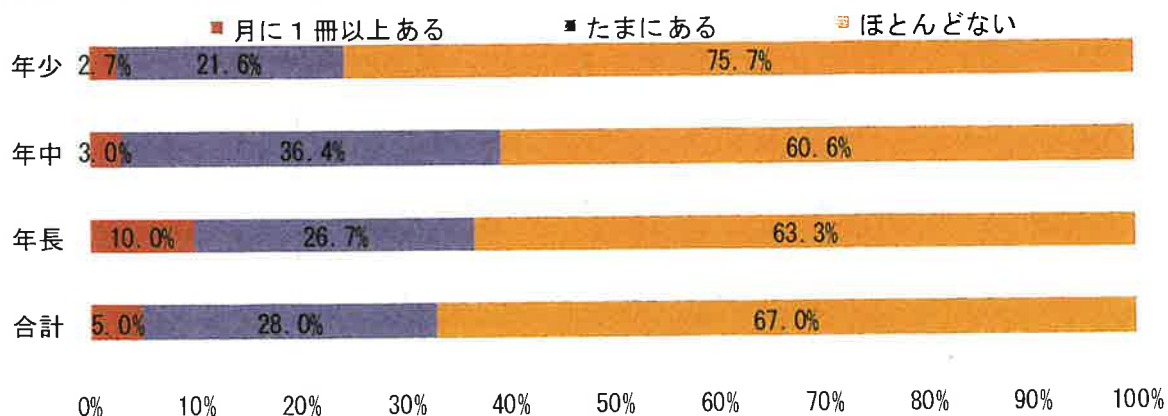
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



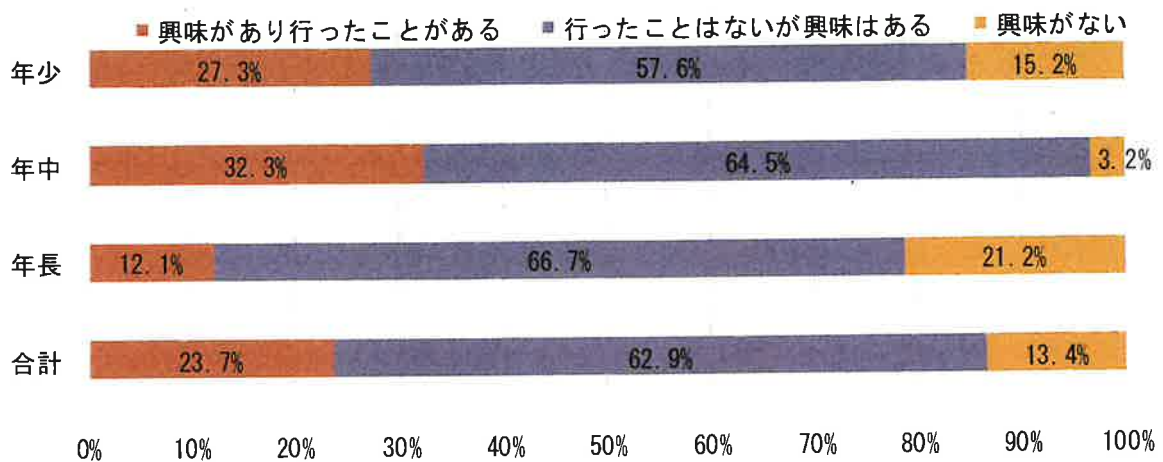
5. お子さんの本を買ったり（インターネットでの購入含む）、図書館などで本を借りたことはありますか。



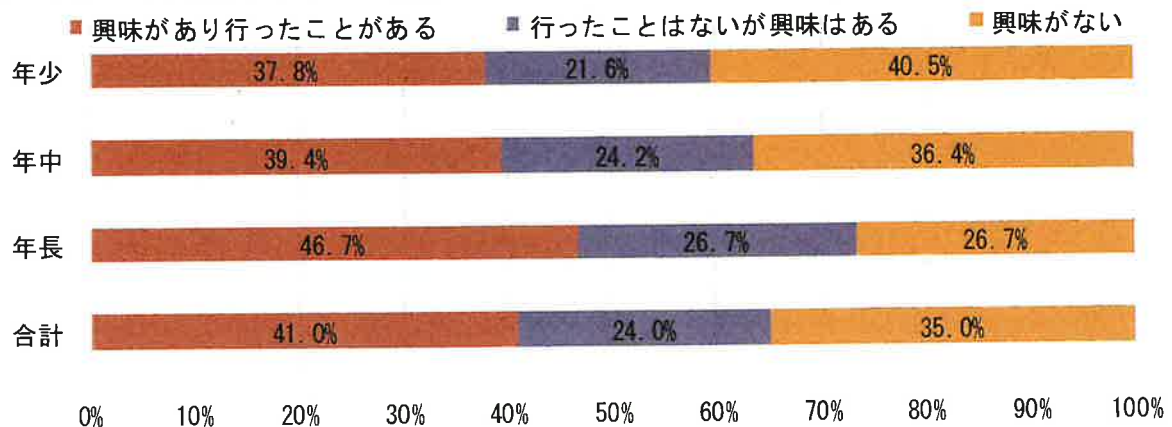
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



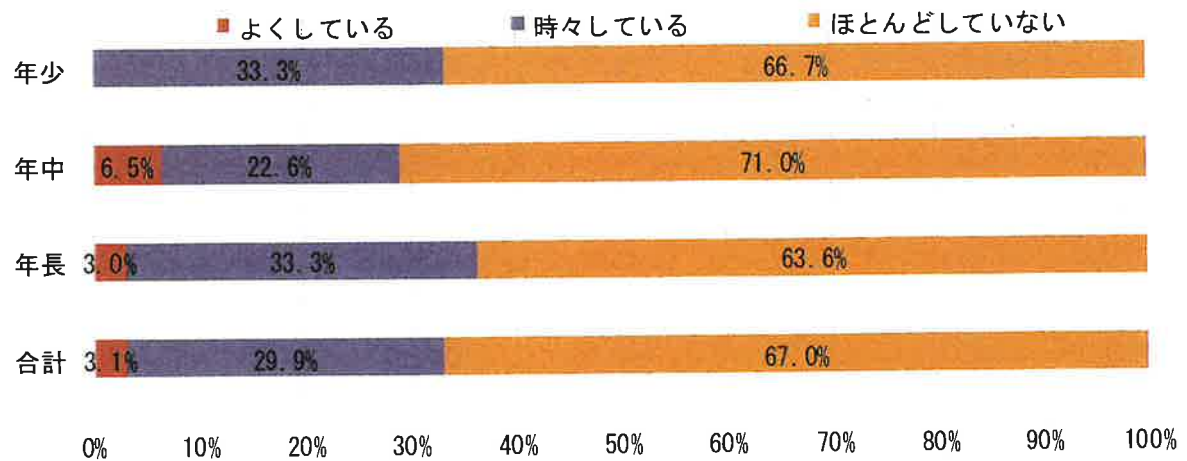
6. 金山町や他の市町村のお子様向けのおはなし会や絵本に関するイベントには興味はありますか。



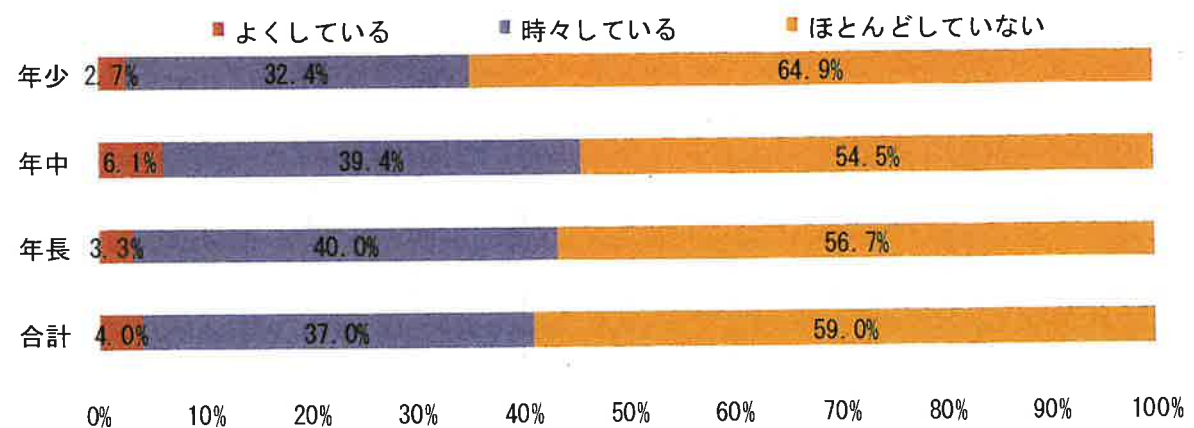
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



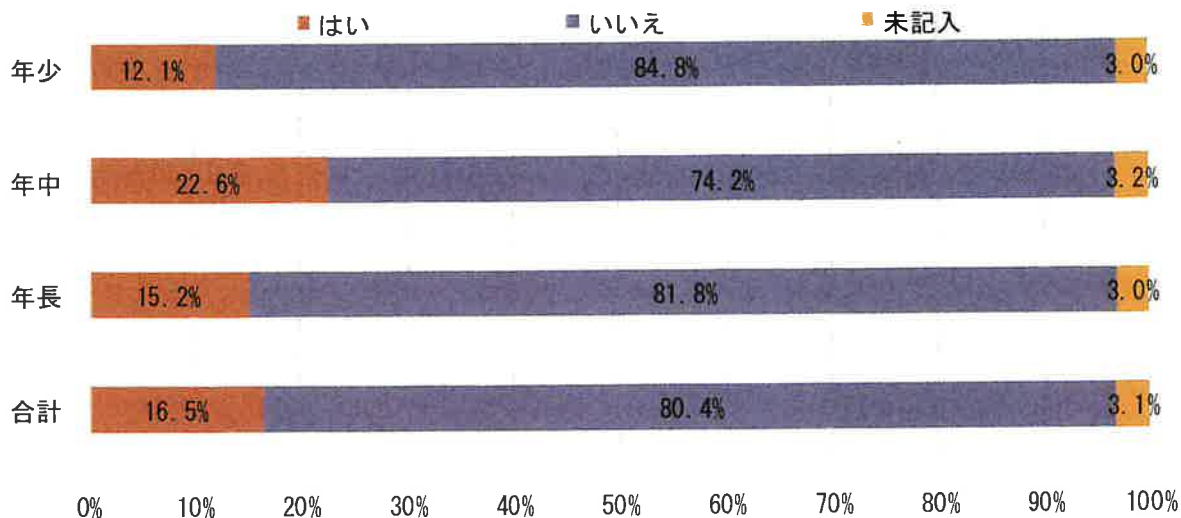
7. おうちの人は、読書はしていますか。(マンガ、雑誌は除く)



※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



8. 金山町の図書館（中央公民館図書室や交流サロンぽすと）を利用していますか。



◎「はい」の理由

- ・家で時間が増えたため
- ・近所にあるため、帰宅してから利用している
- ・兄がぽすとに行くので（すごくいい場所だと言っている。色々な図作をしてきたり、本も借りてきて、字も読めるようになった）
- ・小さい頃から本を見ながら寝るため、毎週借りている
- ・散歩の時に寄ってみることがある
- ・兄弟が良く利用するので、その時に一緒に絵本を借りる
- ・学校帰りに寄ることができる
- ・子どもが読みたい本があったから
- ・絵本がたくさんあり、子どもが喜ぶから
- ・様々な種類の本を読むことができる
- ・とても良いところ、平日だけなのが残念
- ・子どもにたくさん絵本を読んでもらいたいし、私も絵本が好きなので

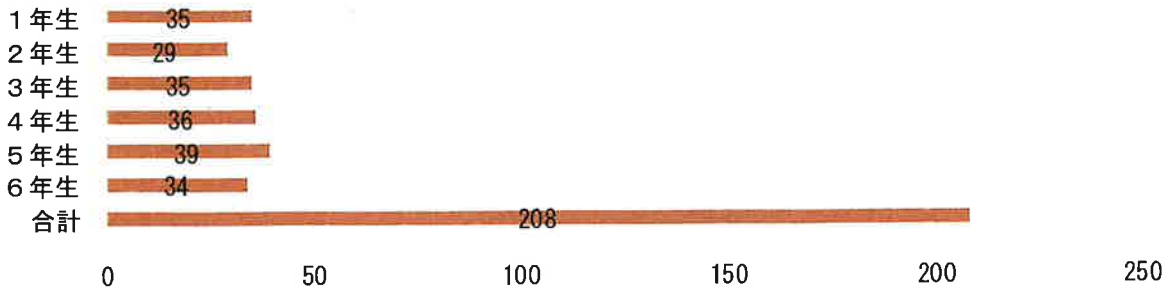
◎「いいえ」の理由

- ・本を汚したり、壊してしまう可能性がある
- ・家に本がたくさんある
- ・小学生の兄弟が借りてきた本を一緒に見たり、読んだりしている
- ・方向が違う、遠い、町内に行くことがない
- ・行く機会がない
- ・行きづらい
- ・時間の都合がつかない
- ・行くまで遠いので、本を借りに行くより、よほど欲しいと言われれば購入する
- ・園でたまに読み聞かせがあるので
- ・ぽすとだと車を停める場所がない
- ・子どもが多く、仕事をしており、休みの日も忙しい
- ・仕事をしているので、行きたくても行けない、開館時間に間に合わない
- ・読書をする時間がない、余裕がない
- ・本を読まない
- ・タブレットで絵本を読んでいる
- ・コロナ禍で外出を控えている、コロナが心配
- ・自宅で絵本をゆっくり読めるので
- ・以前は支援センターの絵本を借りていたが、子どもが大きくなり、支援センターに行くことがなくなったので利用しなくなった
- ・利用方法が分からない、利用していいのか分からなかった
- ・年長以下の本があることを知らない、利用方法や本の紹介をして欲しい
- ・読みたい本が少ない、最新刊がない
- ・下の子が小さくあまり外出できない
- ・小学生向けの印象がある
- ・利用できる時間が仕事終わりの夕方のため、小学生がたくさん利用していることもありなかなか行きづらい

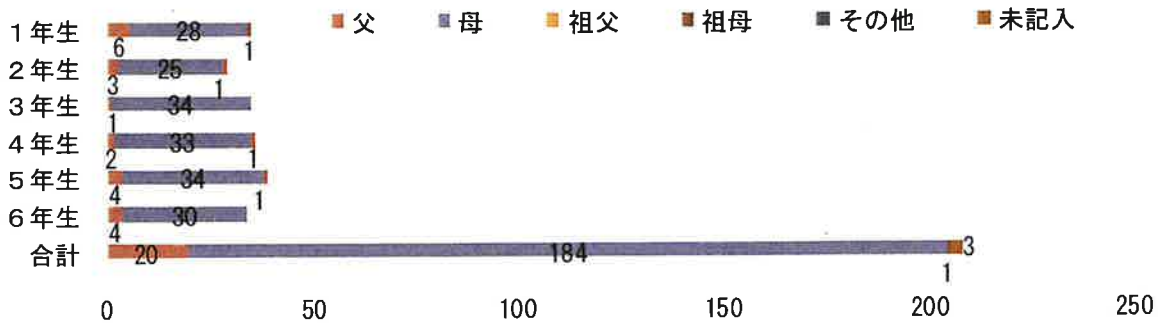
町内全小学校児童保護者

読書に関するアンケート（218名中208名回答 回答率95.4%）

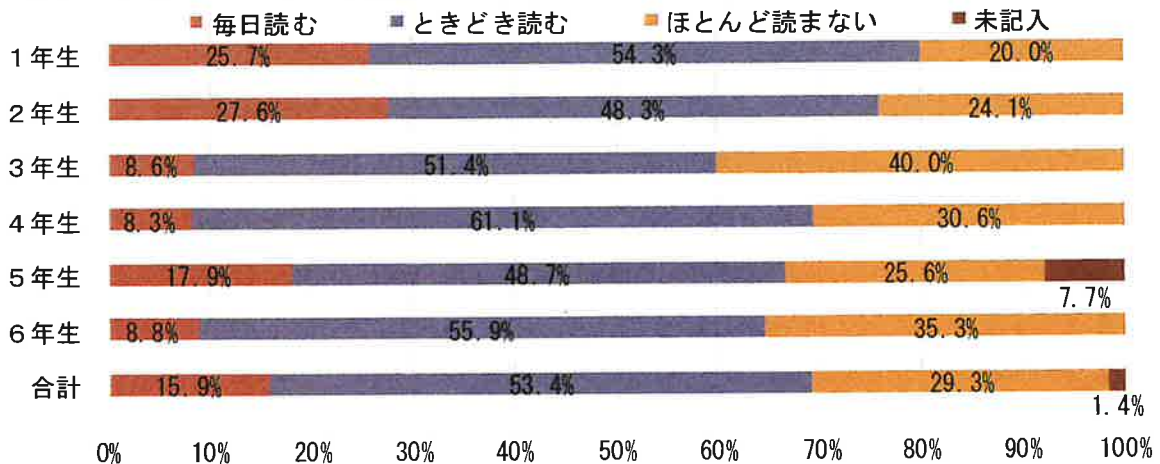
◆お子さんの学年は？（ ）年生



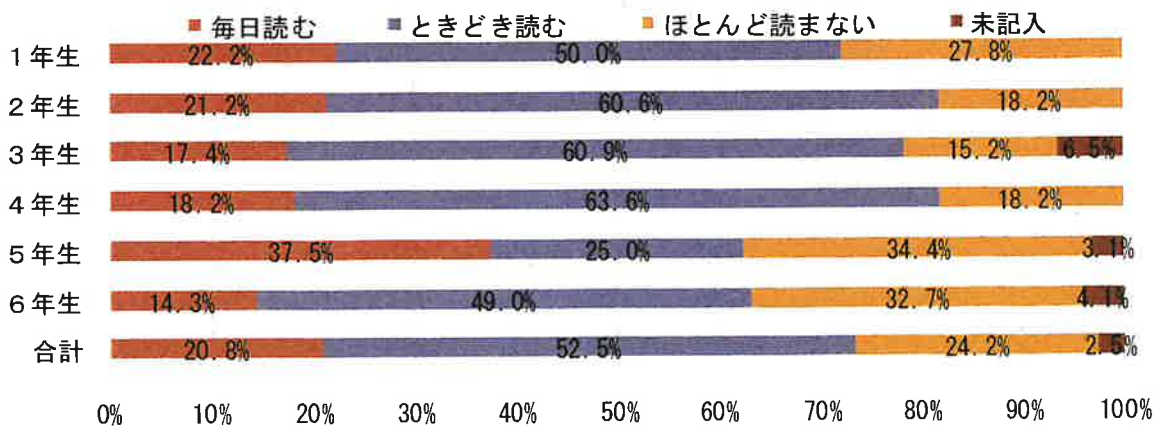
◆お子さんとの続柄を教えてください



1. お子さんは、どのぐらい本を読みますか。

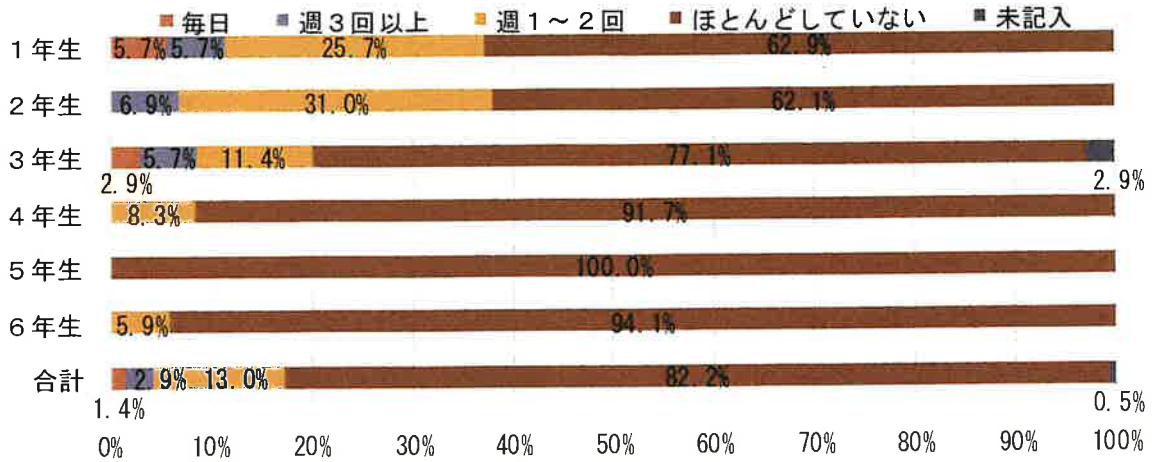


※平成29年1月実施アンケート結果

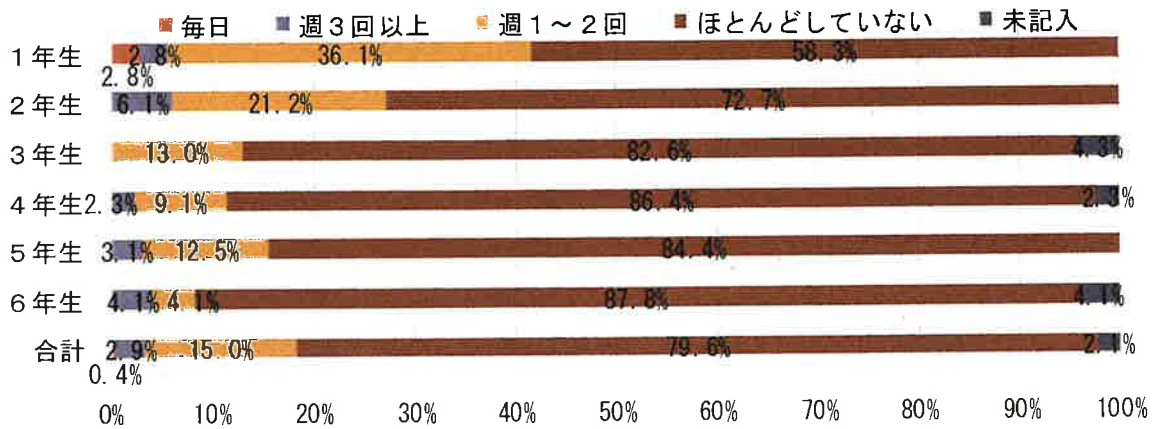


2. お子さんに読み聞かせをしていますか。また、お子さんが乳幼児の頃、読み聞かせをしていましたか。

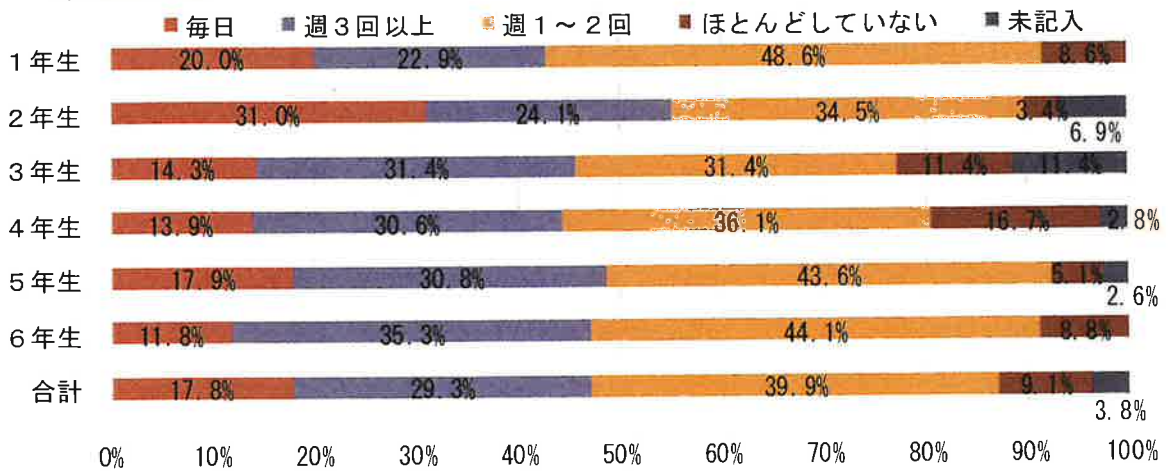
(現在)



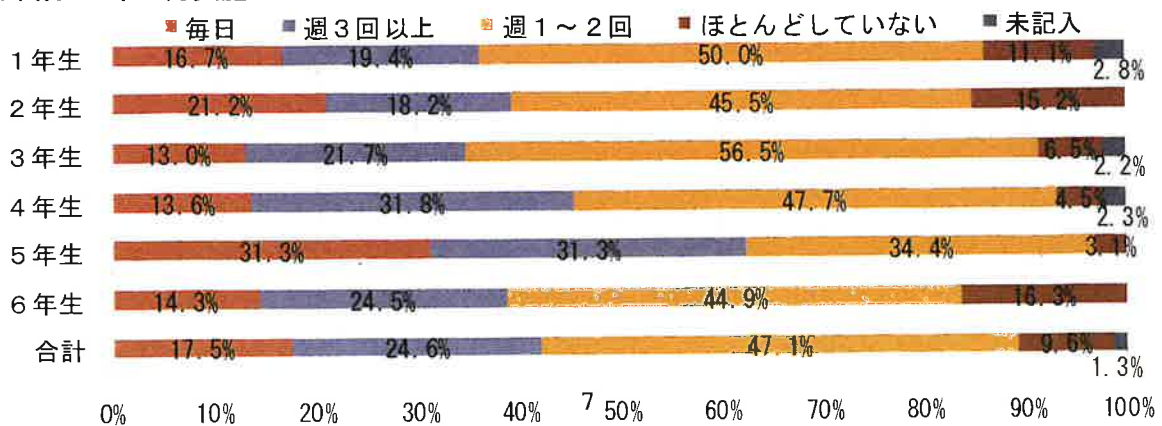
※平成29年1月実施アンケート結果



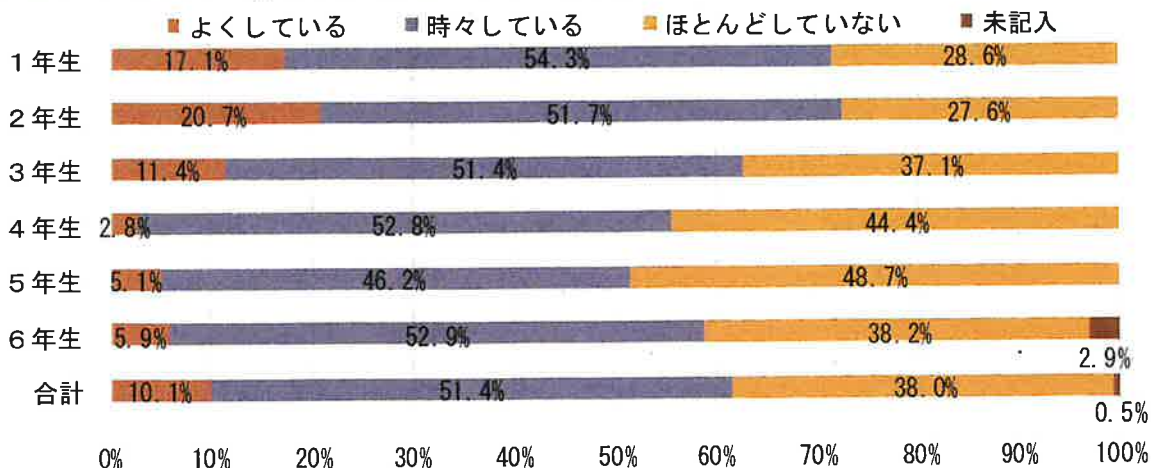
(乳幼児の頃)



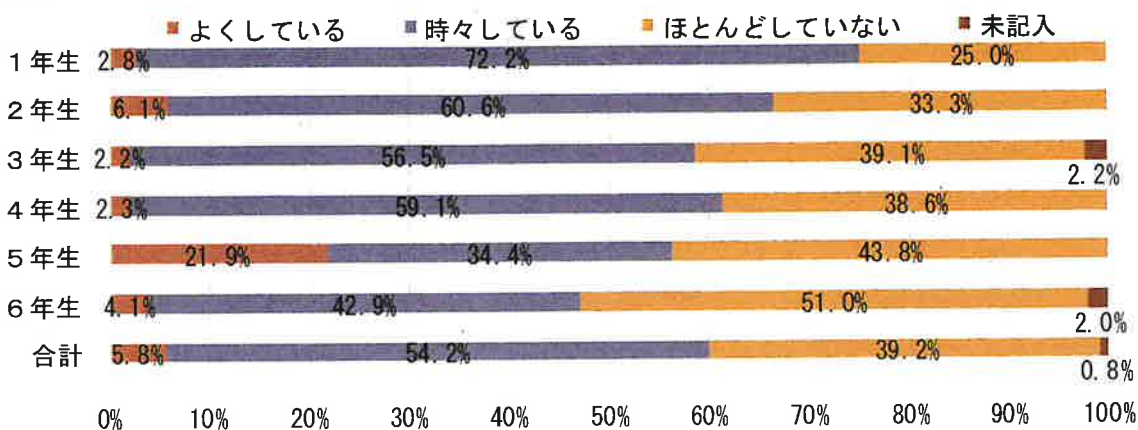
※平成29年1月実施アンケート結果



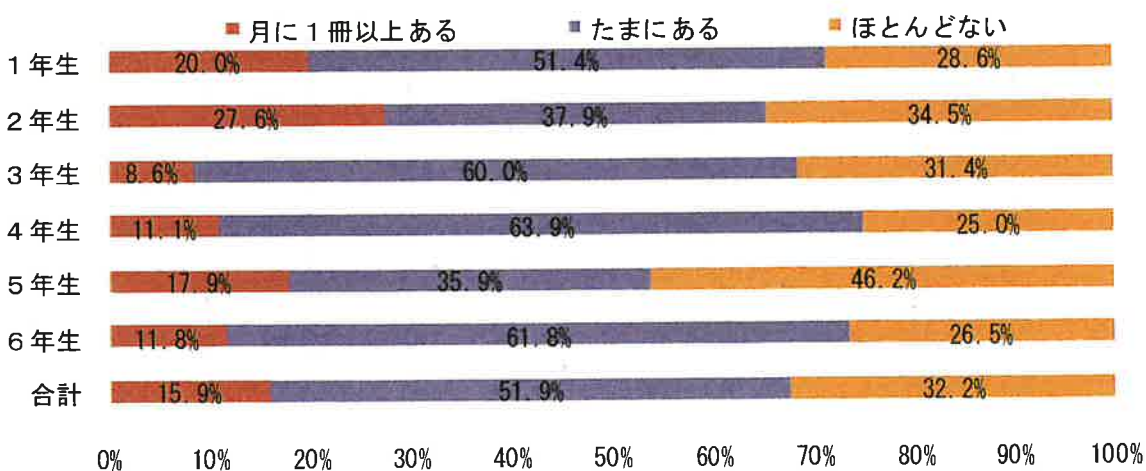
3. 家庭内で、本や読書について話題にしていますか。



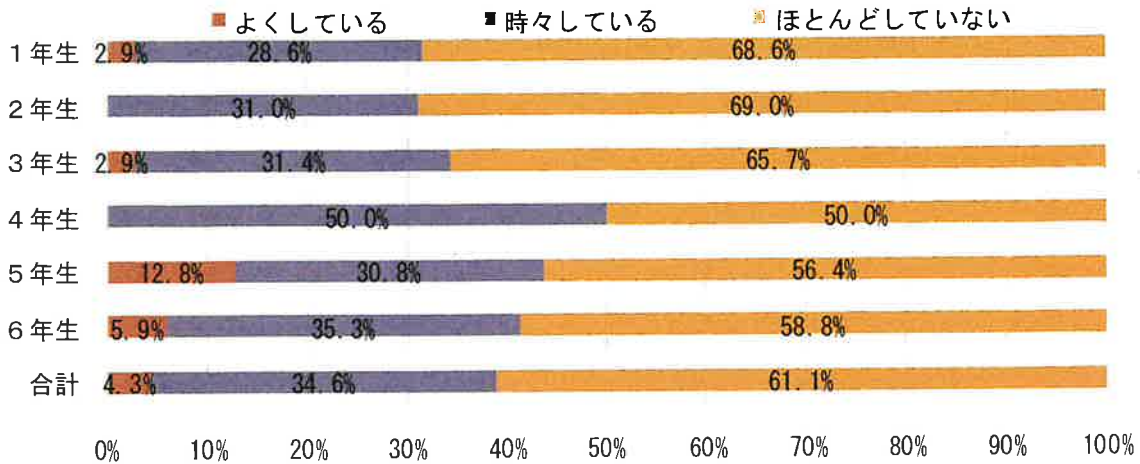
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



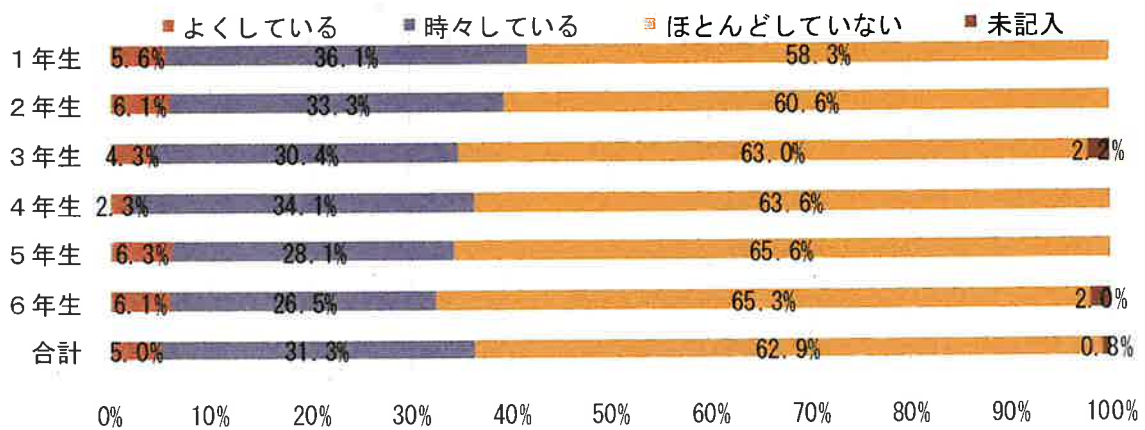
4. お子さんのために本（電子書籍含む）を購入したり（インターネットでの購入含む）、図書館で本を借りることはありますか。



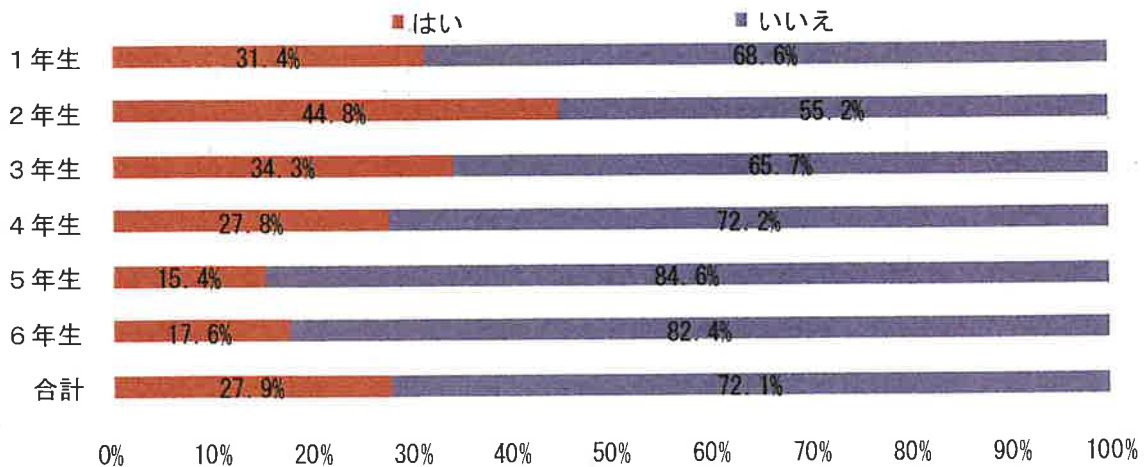
5. おうちの方は、読書をしていますか。(マンガ、雑誌は除く)



※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



6. 金山町の図書館（中央公民館図書室や交流サロンぼすと）を利用していますか。



◎「はい」の理由

- ・友だちと一緒に利用している
- ・本や物作りが好きだから
- ・読書が好きだから
- ・借りたい本があるため
- ・本を読んだり、工作をするため
- ・場所が近い
- ・絵本に触れる時間を少しでも多く持って欲しい、子ども自身も興味を持っている
- ・いろいろな本がある、魅力的な本がある
- ・子どもが行きたいというため
- ・子どもが好きだから
- ・子どもたちにおすすめの本を選んでもらえる
- ・子どものお迎えで行くことがある
- ・学校帰りに寄っている
- ・バスの待ち時間で利用している
- ・英語教室がある時にぼすとに行く

- ・放課後、利用できるようにしているため
- ・ぼすとを年1回利用、子どもは森図書の日で、もっと時間が長かったらいいと思う
- ・ぼすとは自宅から近く、子どもにとっても魅力的な制作活動をしてくれる
- ・行ける機会に行きたいので、時々、親だけでも利用している
- ・荘内銀行等でも借りることができ、便利だから
- ・ぼすとは学校でもお世話になっているので親しみがあり、利用することがある
- ・年1回くらいぼすとを利用、仕事帰りにも利用できればと思う

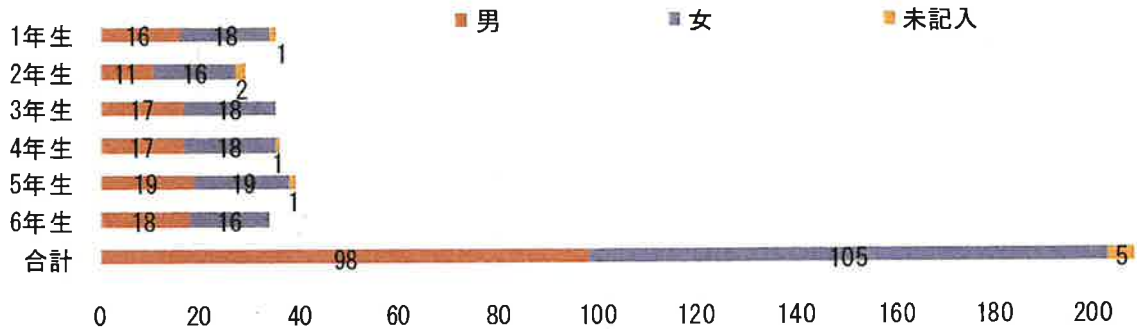
◎「いいえ」の理由

- ・時間が合わない、仕事が休みの時は施設も休みになっている
- ・開いている時間に借りに行くことが難しい ・利用しづらい、行きづらい
- ・借りていいのかわからず利用していない、借り方・利用方法がわからない
- ・行く時間がない ・本を読む時間を作れない
- ・本を読まない ・購入することが多い
- ・子どもにすすめても、前向きに行きたいとは言っていない
- ・借りると返さなければならぬので面倒 ・返すのを忘れてしまうといけないので
- ・ゆっくり読みたい ・遠い、町中にあまり行かない
- ・家から遠く、学校の帰りに寄ることができない
- ・借りる機会がない、行く機会がない ・学校で本を借りている
- ・コロナ禍で外出を控えている ・駐車場がない、どこに停めればいいのか分からない
- ・借りてみたい本はあるが、仕事以外は休みたいのでなかなか行けない。大人もぼすとで借りられますか？
- ・以前は利用していたが、子どもがあまり本を読まなくなり、利用しなくなった
- ・幼児の頃は借りていたが、今はなかなか借りに行けない
- ・今度行ってみたい、借りてみたい気持ちがある ・種類が少ない
- ・読みたい本（最近のものなど）があまりない ・好きな本が少ない
- ・他の図書館や本屋を利用している ・興味がない
- ・閉鎖的、暗い、入りづらい ・子どもが借りてきた本と一緒に読む
- ・宿題や習い事で多忙のため ・子どもはよく利用しているが、親はなかなか行けず
- ・あまり親しみがない

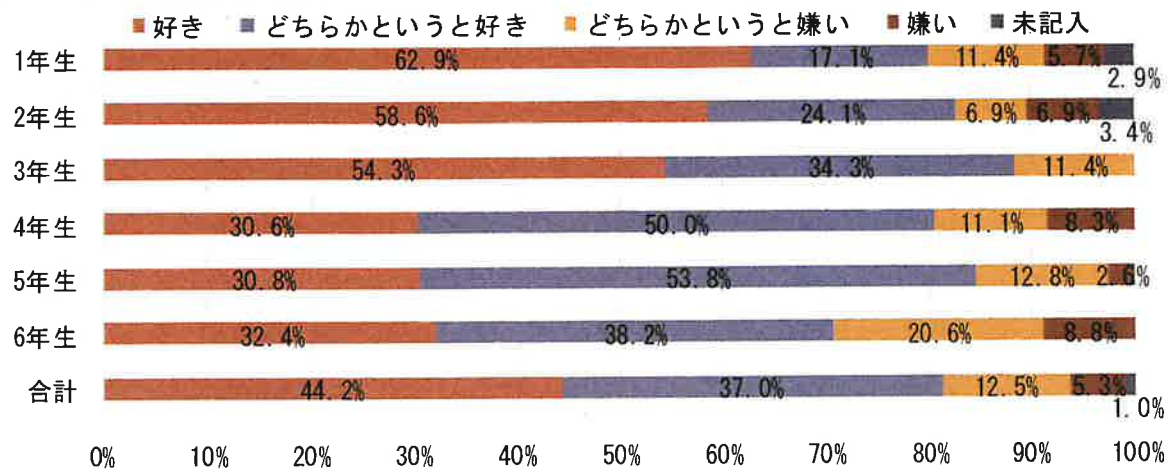
町内全小学校児童

読書に関するアンケート（218名中208名回答 回答率95.4%）

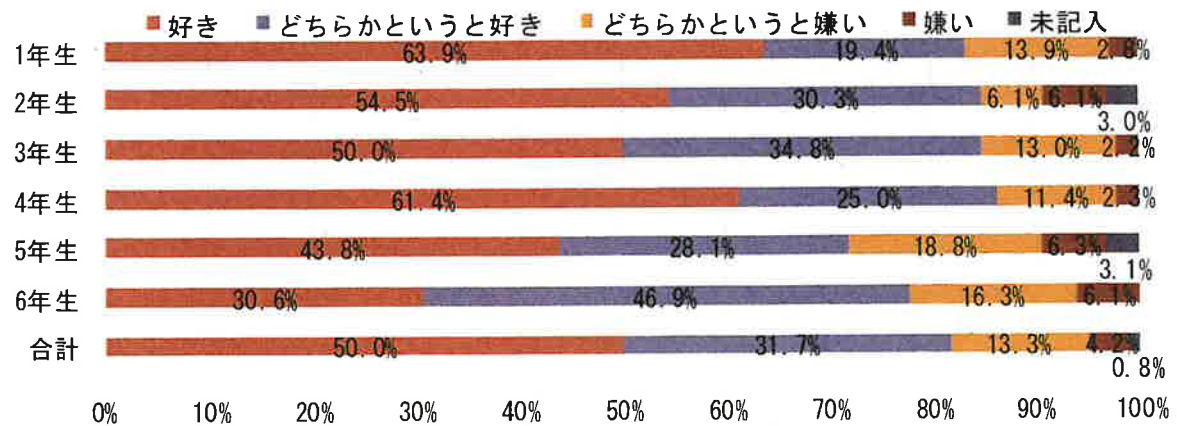
性別を教えてください



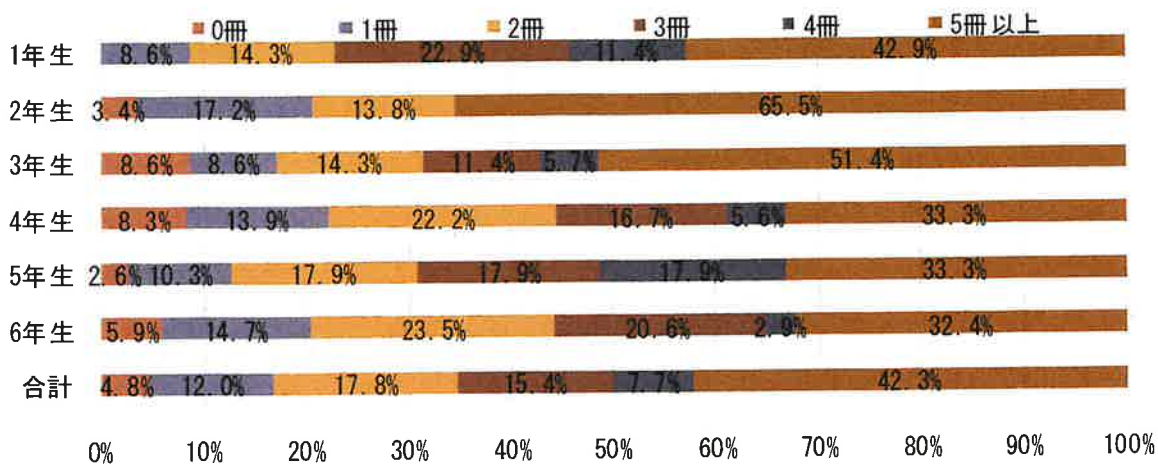
1. 本を読むのは好きですか。



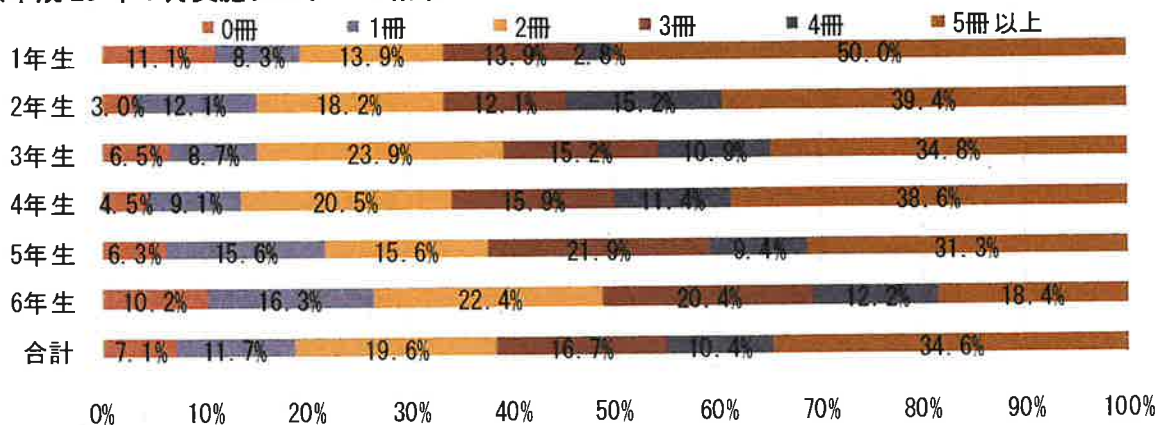
※平成29年1月実施アンケート結果



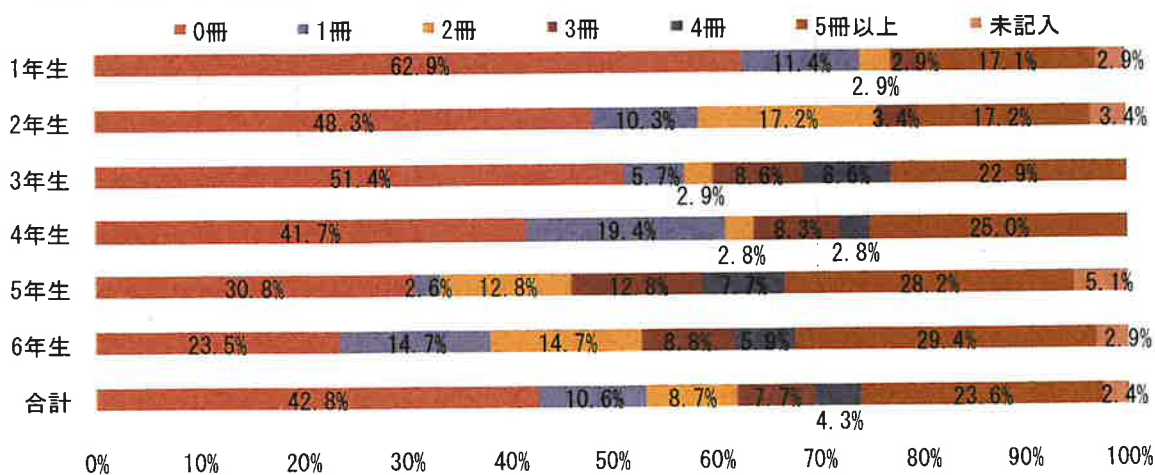
2. この一カ月に読んだ本の数を教えてください。(マンガと雑誌をぬかして。買ったもの、借りたものでもどちらでもいいです。)



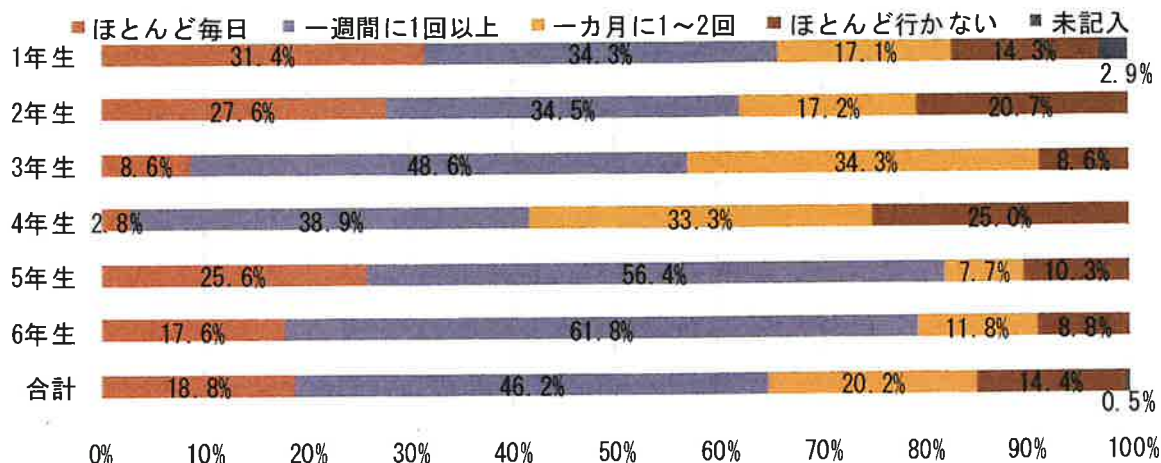
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



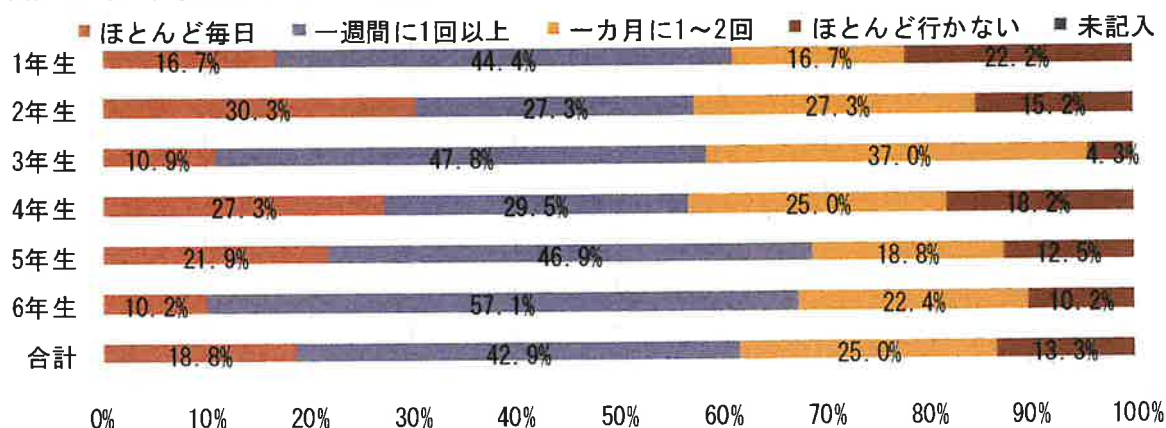
3. この一カ月に、読んだマンガや雑誌の数を教えてください。



4. 自分の学校の図書室に行きますか。

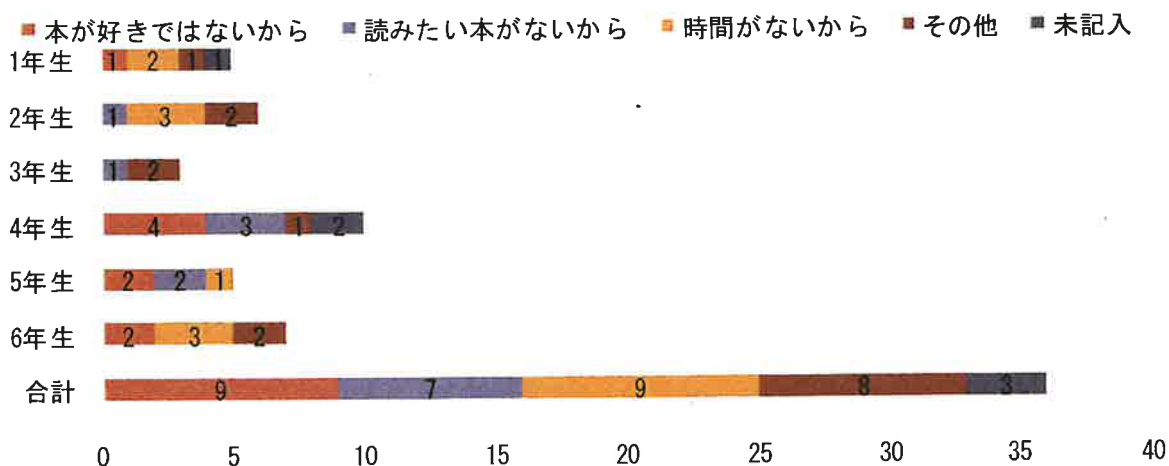


※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



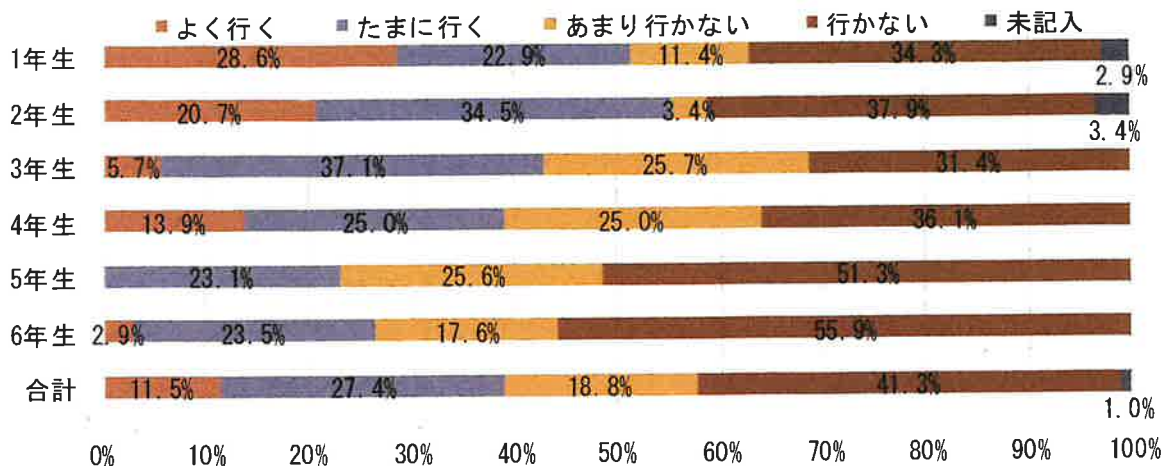
→「ほとんど行かない」と答えた方にお聞きします。

行かない理由はなんですか。(いくつでも選んでいいです)

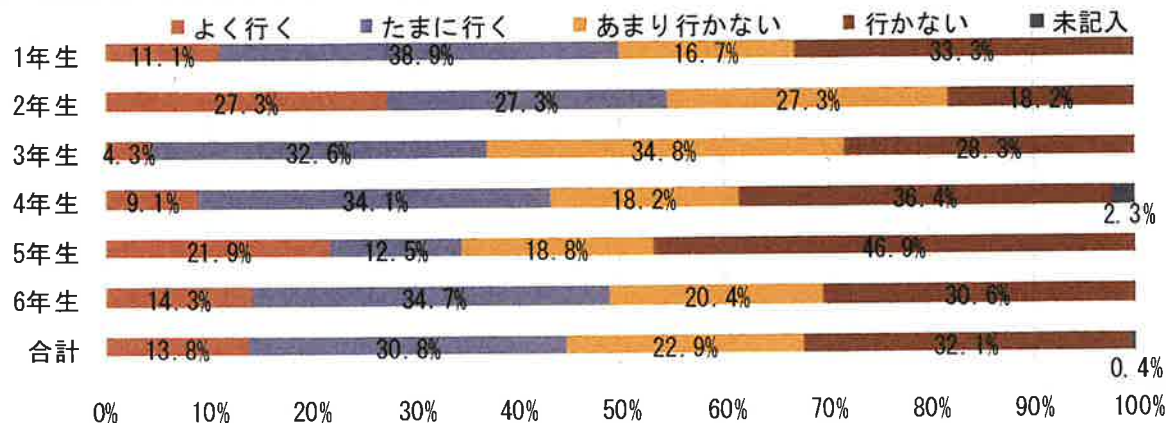


- 【その他】
- ・他の遊びもしたいから
 - ・他の所から本を借りている
 - ・行くと決めただけで忘れてる
 - ・本は絵がない
 - ・どちらかという本が好きでない
 - ・委員会の仕事や本を読む以外の遊びをしている

5. 学校ではない図書館（中央公民館図書室、森図書、新庄市立図書館など）は行きますか。

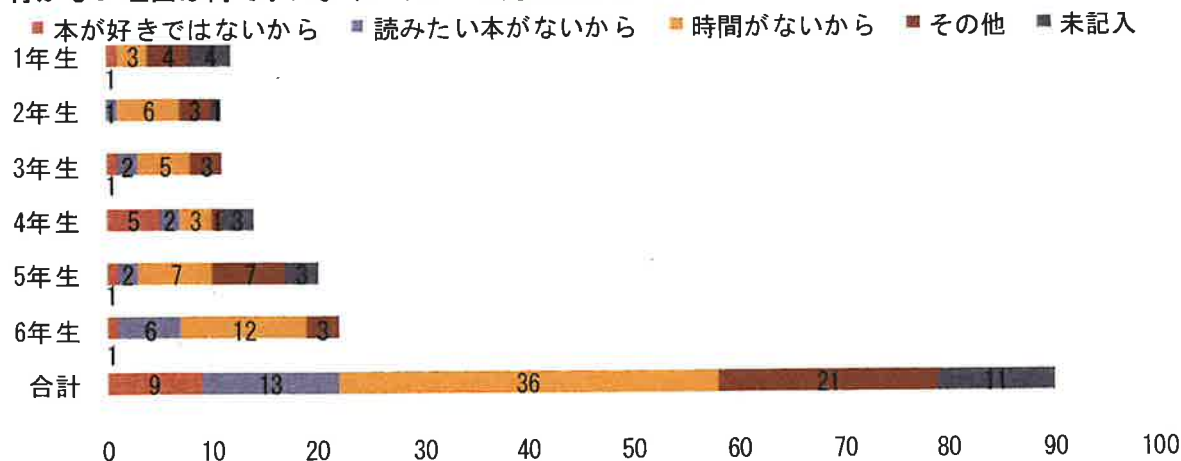


※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



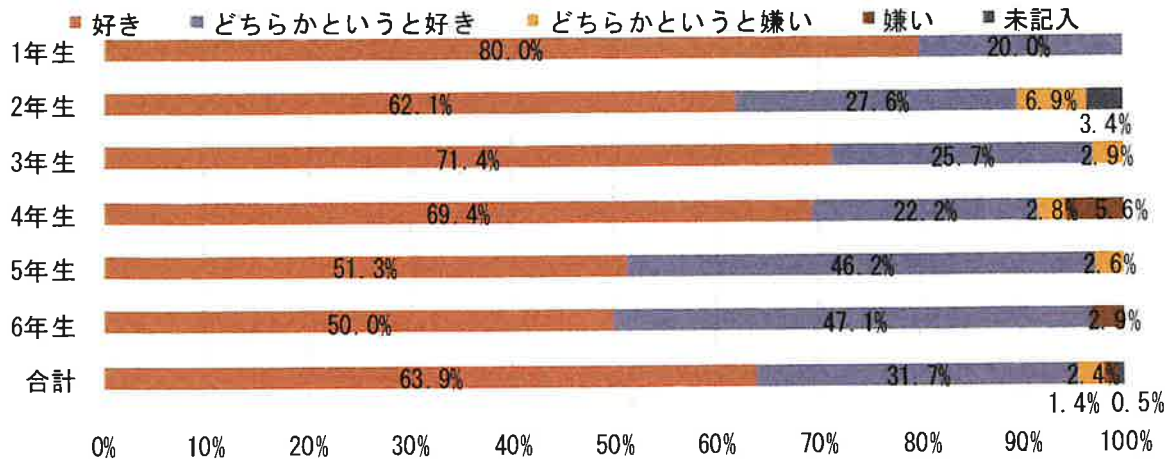
→「行かない」と答えた方にお聞きします。

行かない理由は何ですか。（いくつでも選んでいいです）

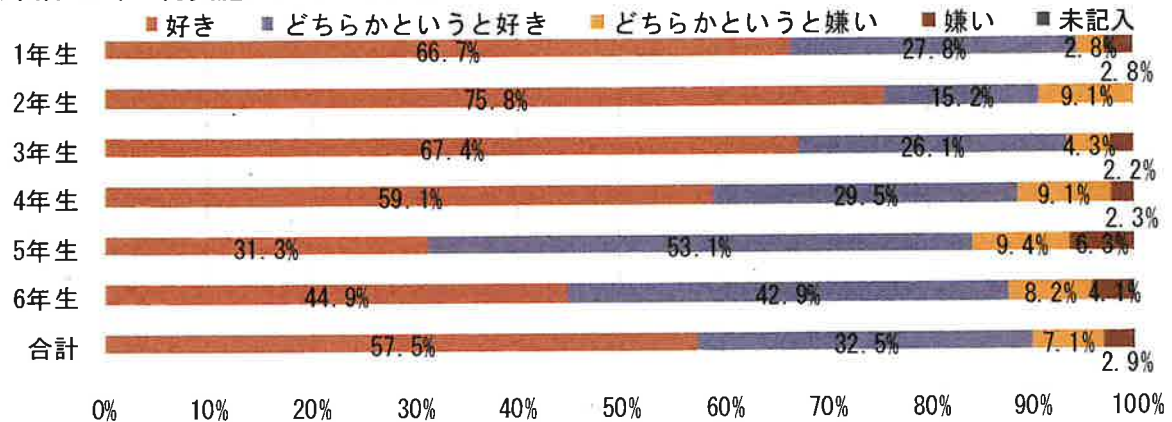


- 【その他】
- ・学校で借りてくる
 - ・行く時間がない
 - ・字が小さくて読めない
 - ・面倒だから
 - ・行ったことがない
 - ・なかなか行けない
 - ・行く機会がない
 - ・家にたくさんある
 - ・近くにない
 - ・自分で行けない
 - ・家・学校で満足している
 - ・親に学校帰りは行ってダメとされている
 - ・本読むこと以外では行って良い
 - ・歩いて行ける距離ではない

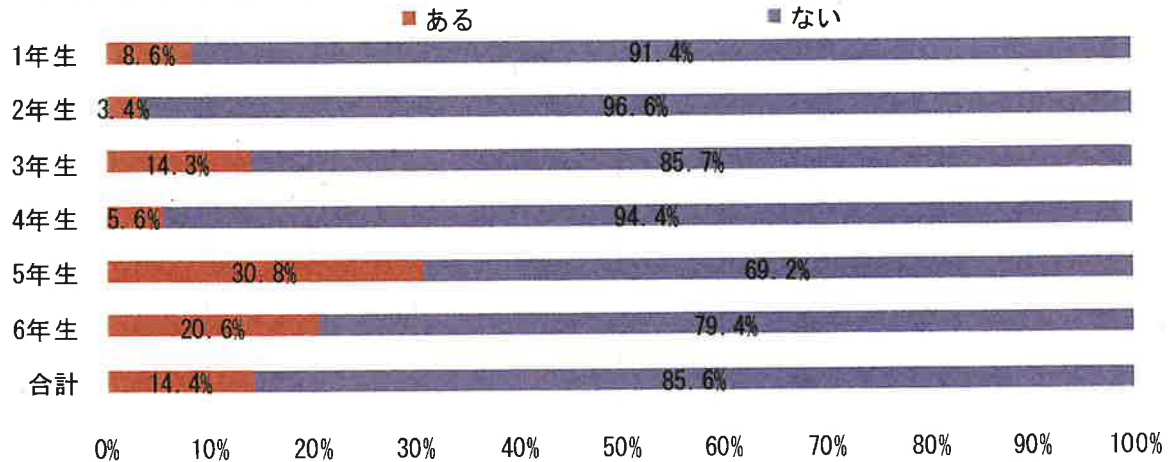
6. 読み聞かせを聞くことは好きですか。



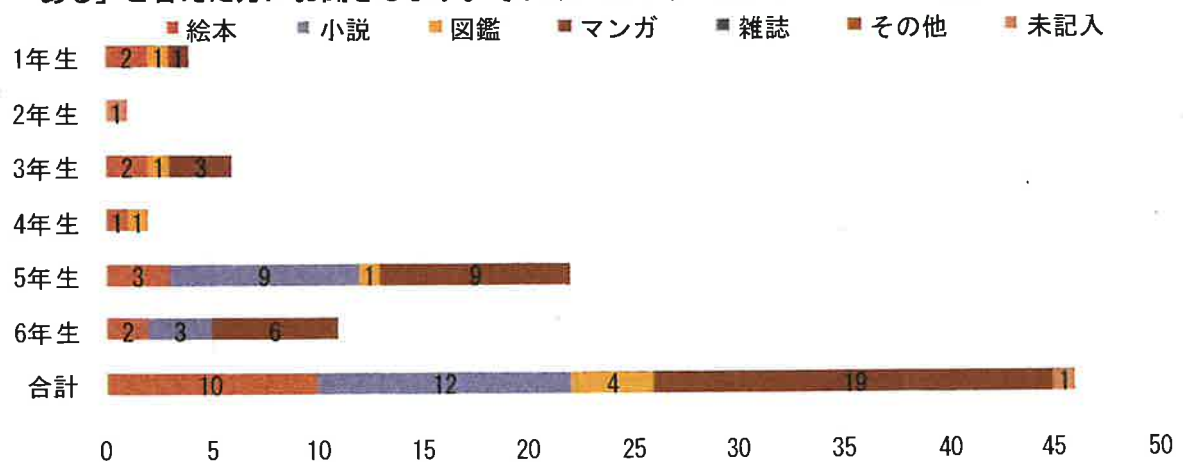
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



7. 電子書籍で本を読んだことはありますか。



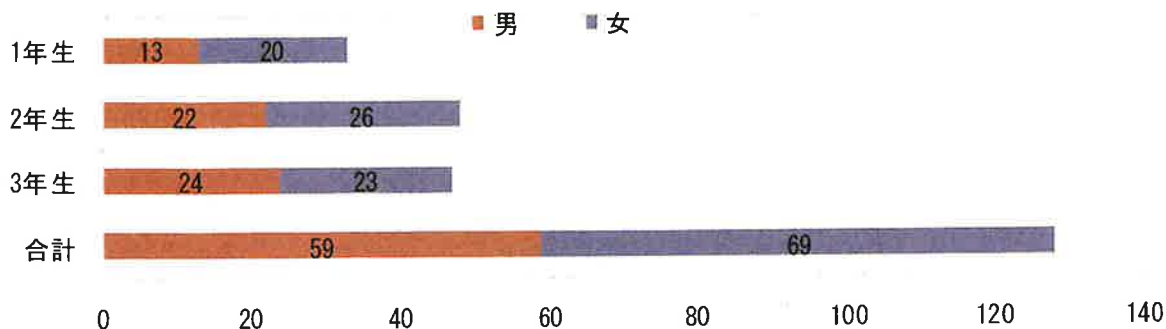
→「ある」と答えた方にお聞きします。それはどんな本ですか。(いくつでも選んでいいです)



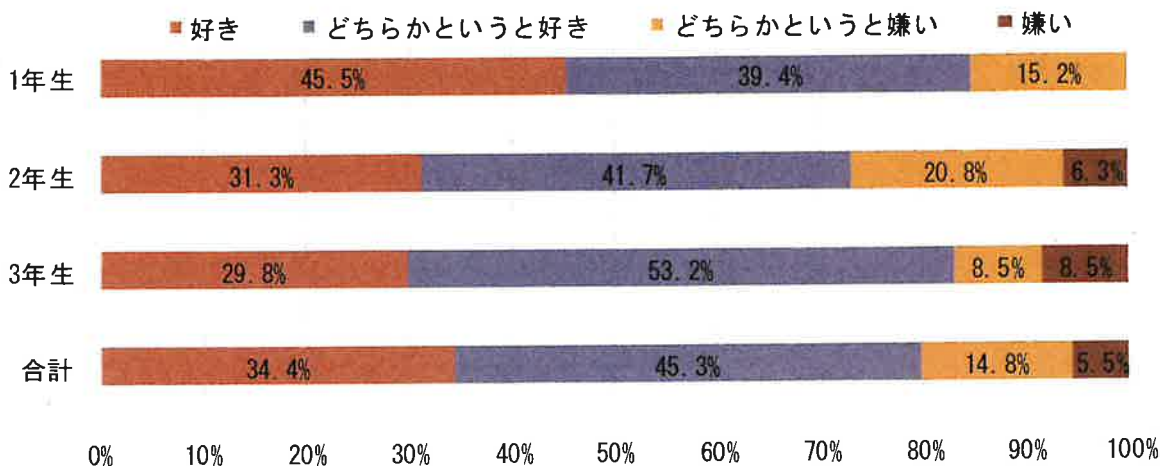
金山中学校生徒

読書に関するアンケート (136名中128名回答 回答率94.1%)

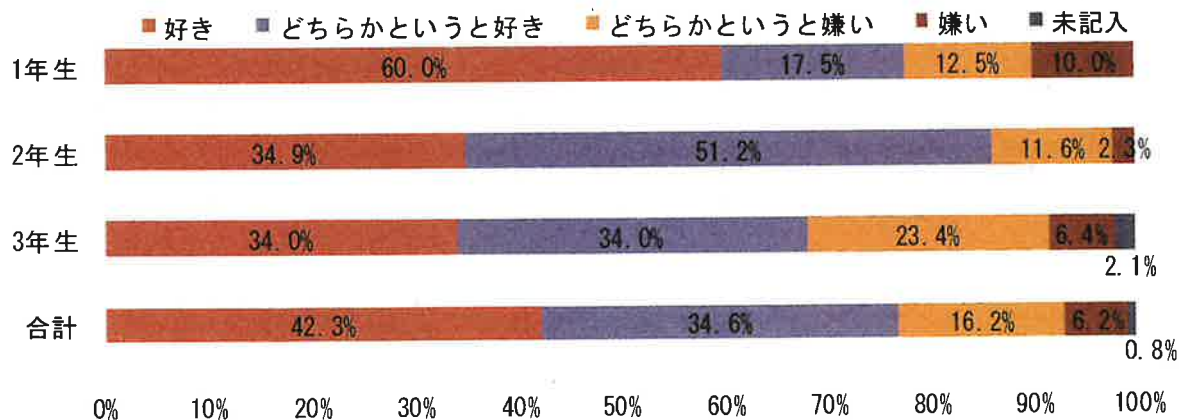
性別を教えてください



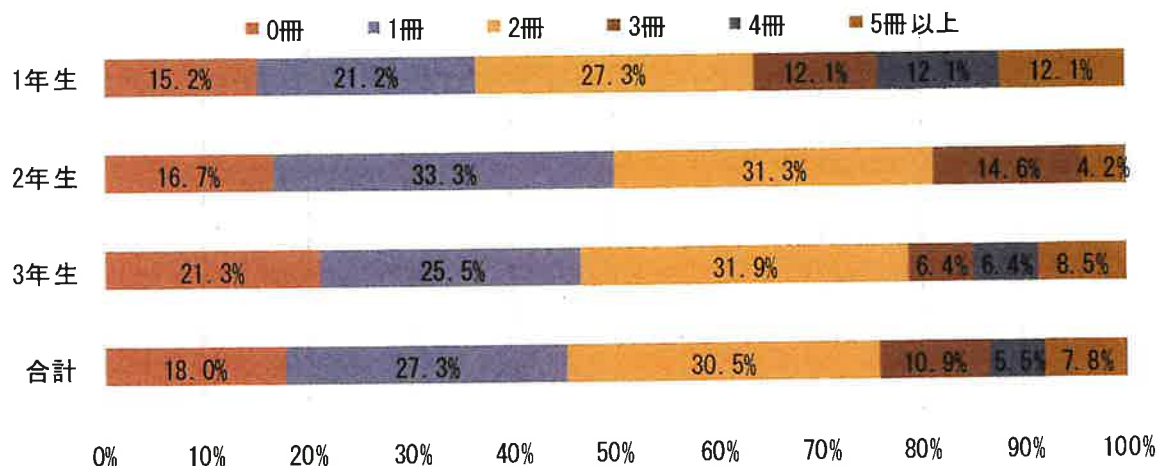
1. 本は好きですか



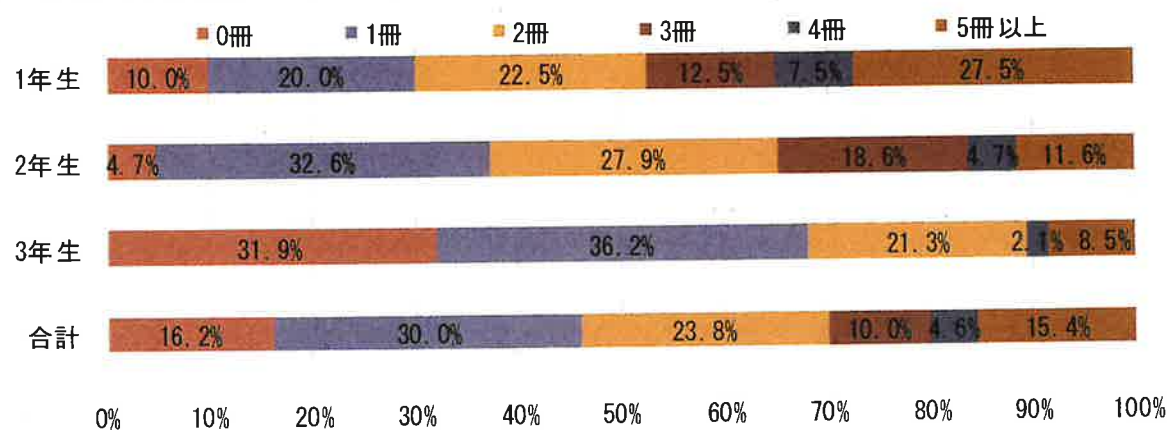
※平成29年1月実施アンケート結果



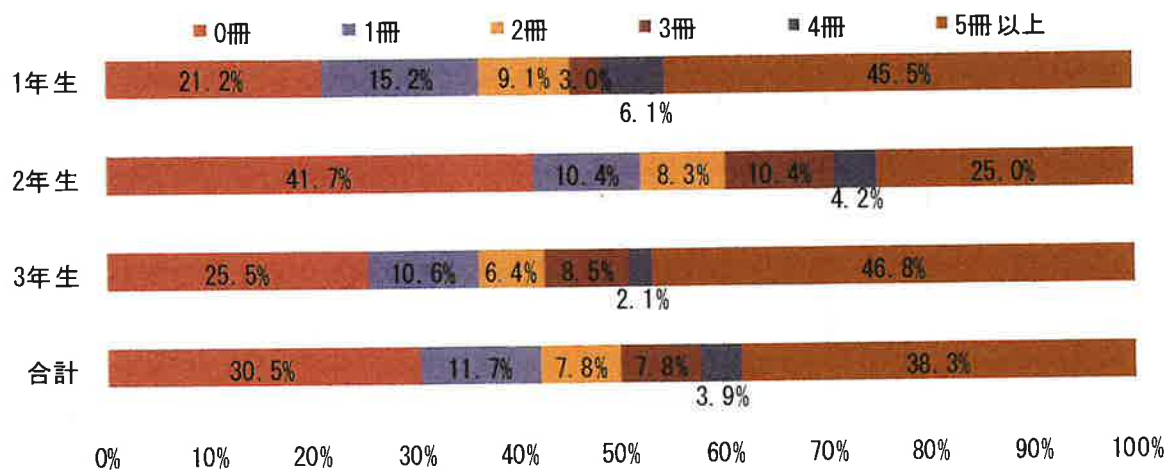
2. この一カ月に読んだ本の数を教えてください。(マンガと雑誌を除く。買ったもの、借りたものでもどちらでもいいです。)



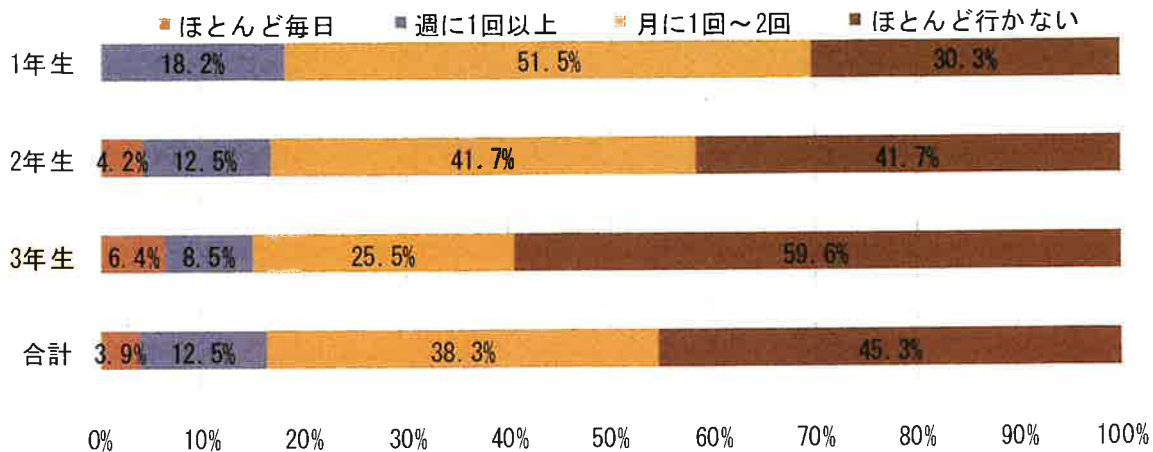
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



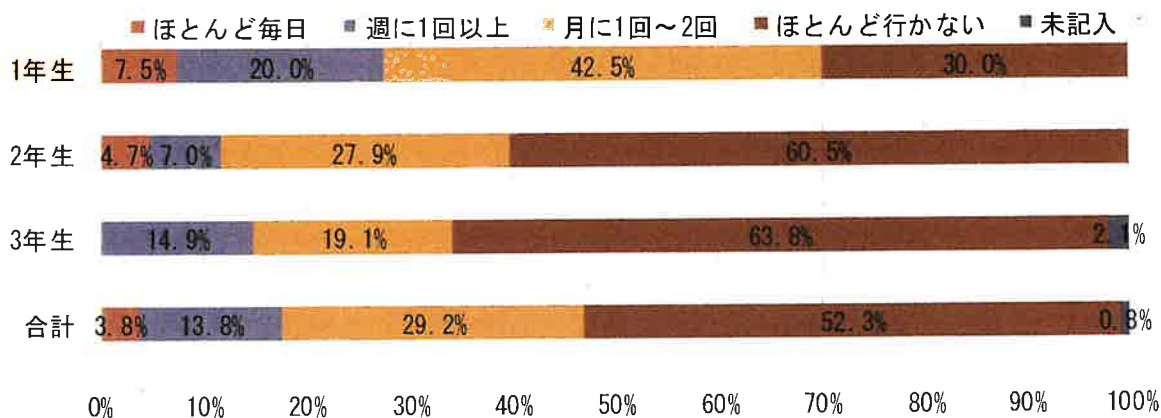
3. この一カ月に、読んだマンガや雑誌の数を教えてください。



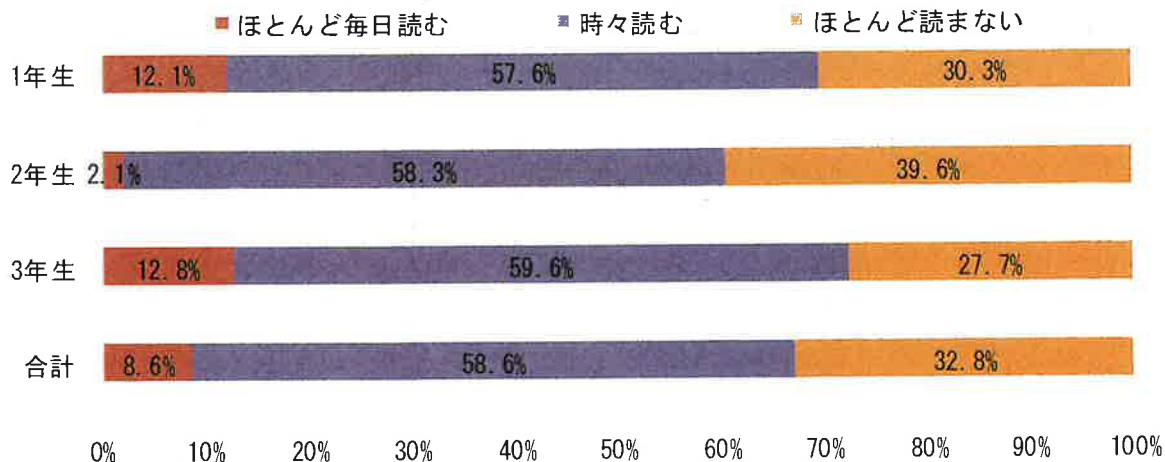
4. 学校の図書室を利用する頻度を教えてください。



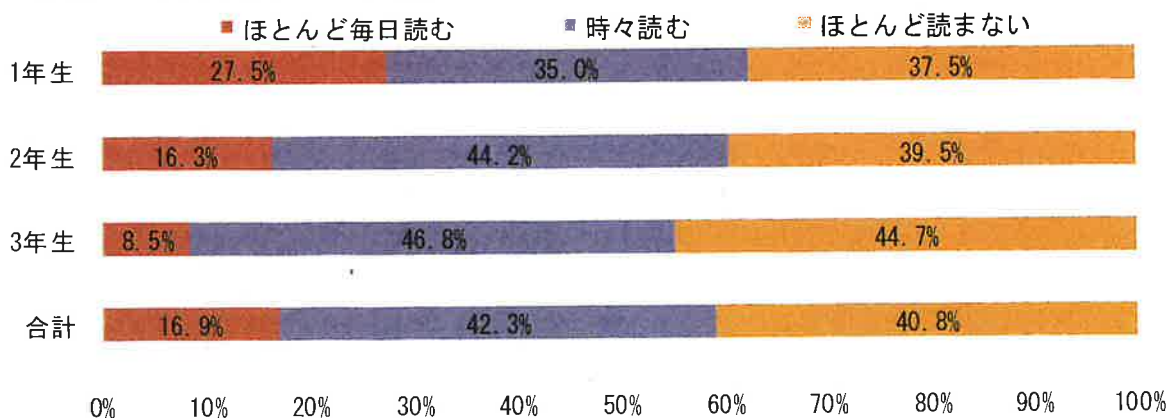
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



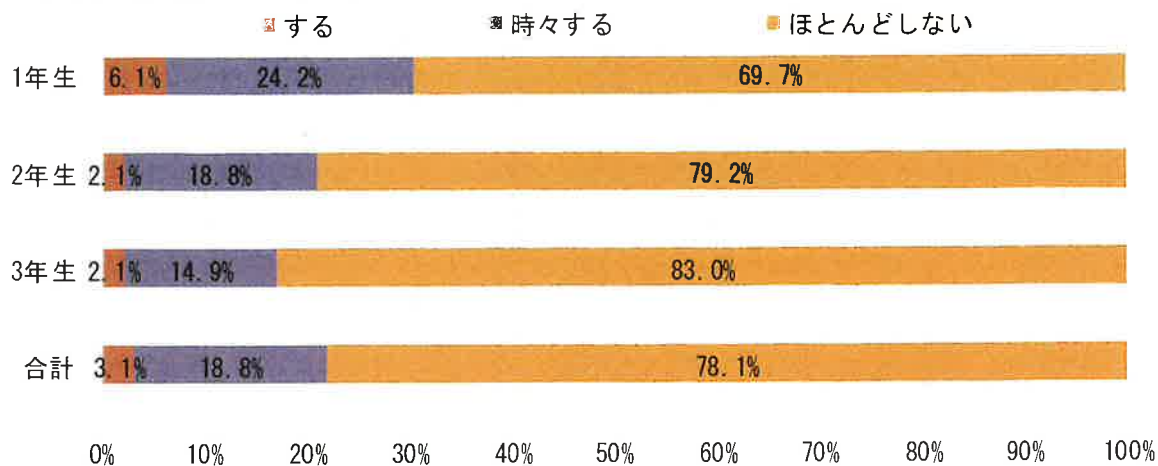
5. 家では本を読んでいますか。



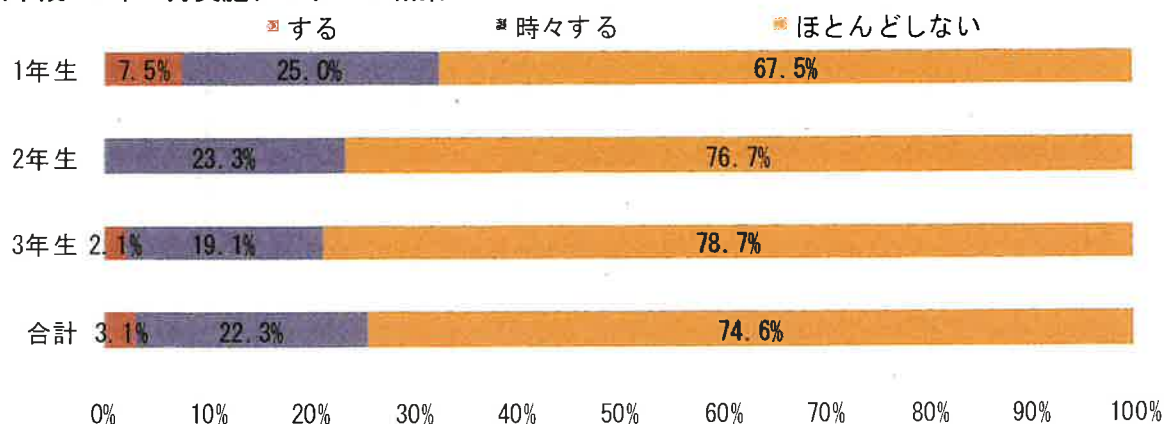
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



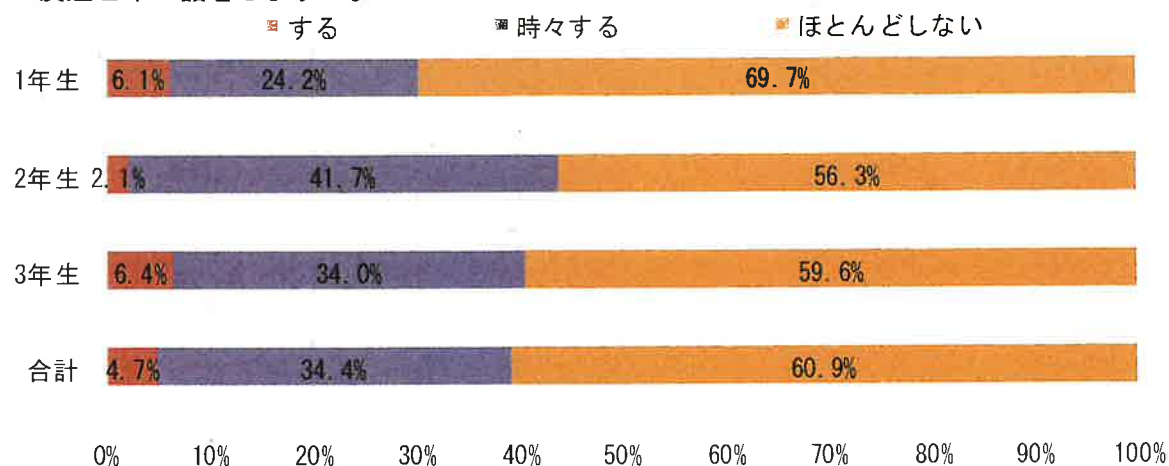
6. 家族と本のお話をしますか。



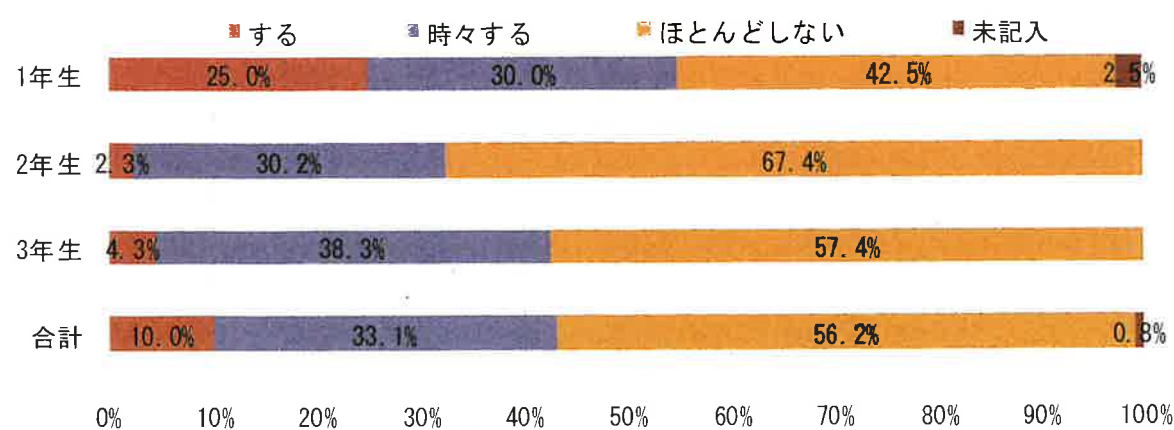
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



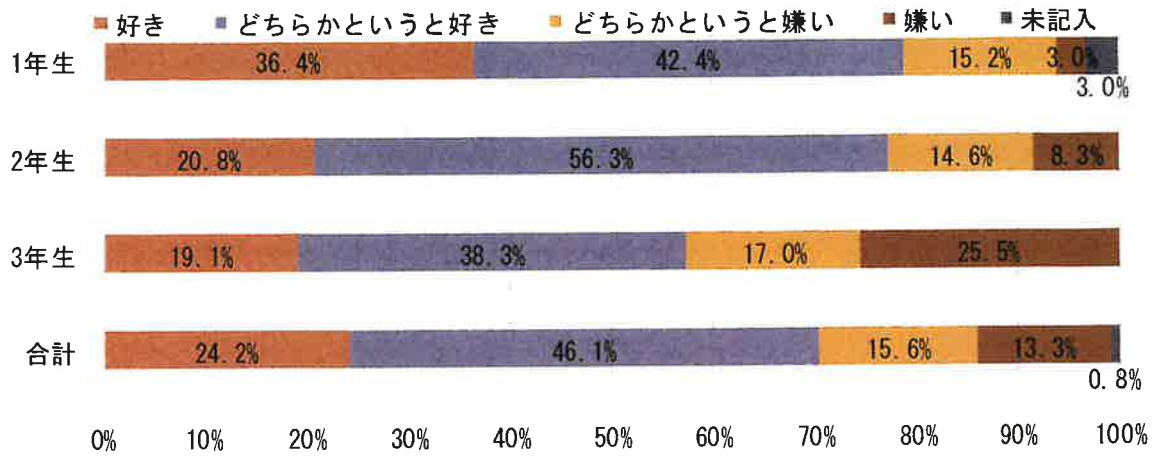
7. 友達と本のお話をしますか。



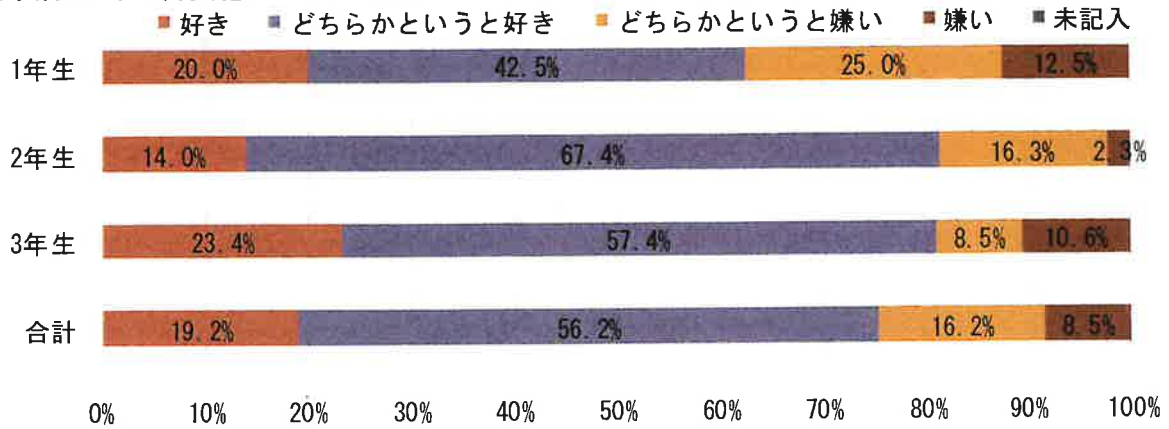
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



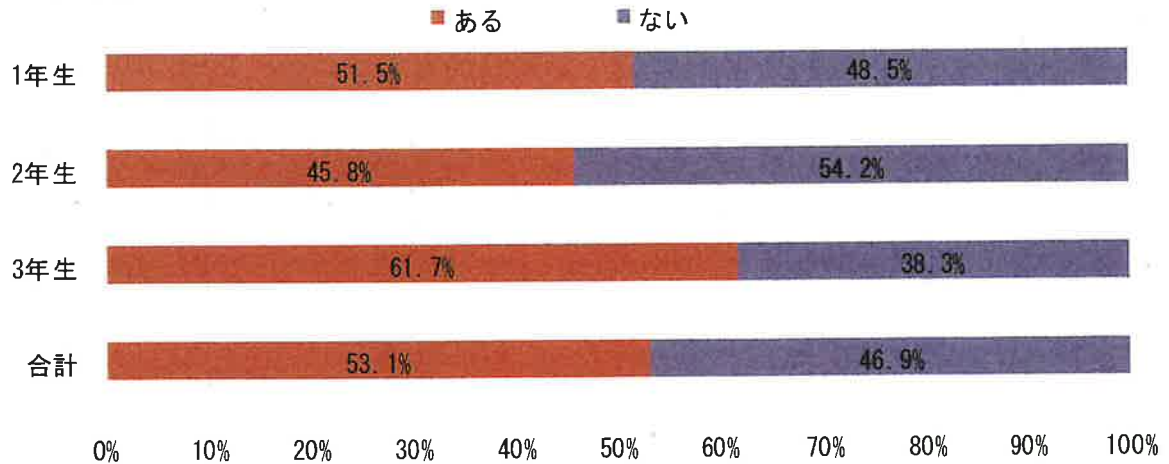
8. 読み聞かせを聞くことは好きですか。



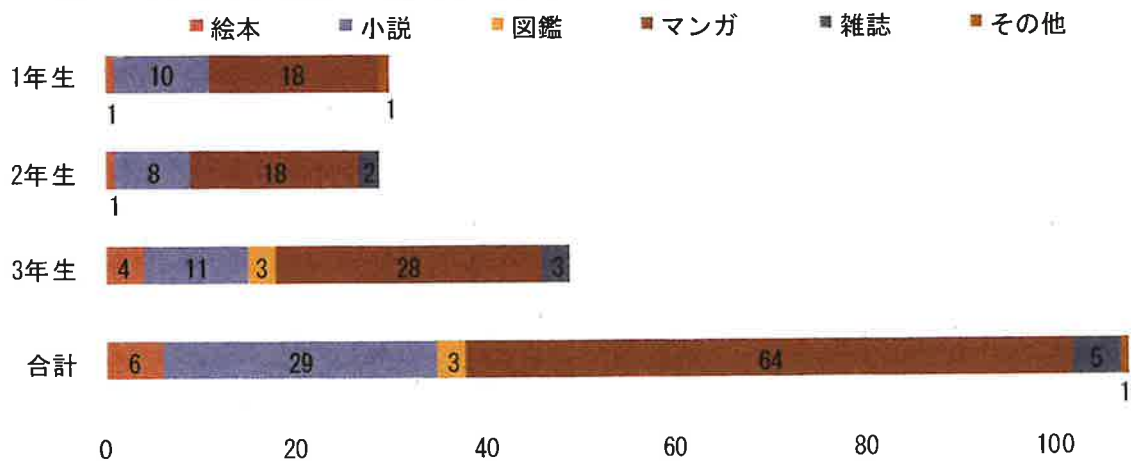
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



9. 電子書籍で本を読んだことはありますか。



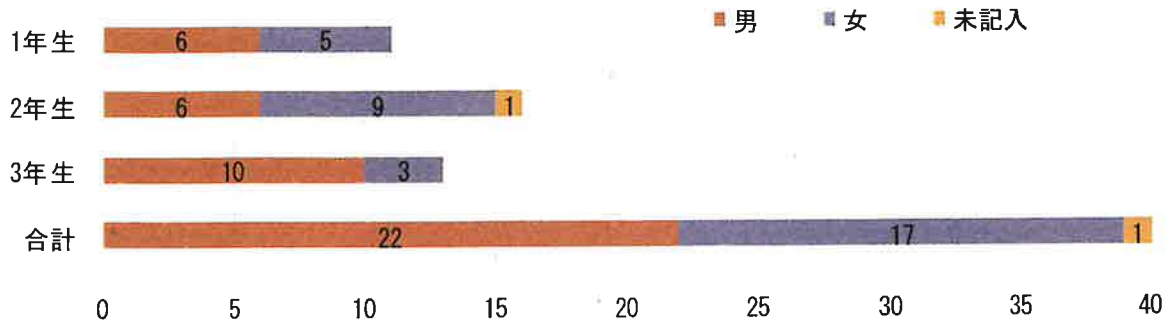
→「ある」と答えた方にお聞きします。それはどんな本ですか。(いくつでも選んでいいです)



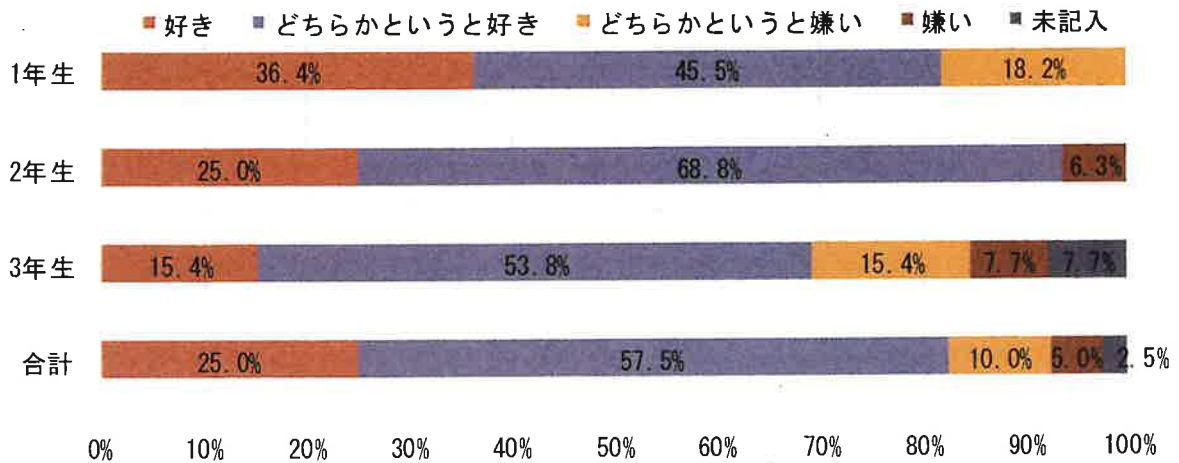
新庄南高等学校金山校生徒

読書に関するアンケート（44名中40名回答 回答率90.9%）

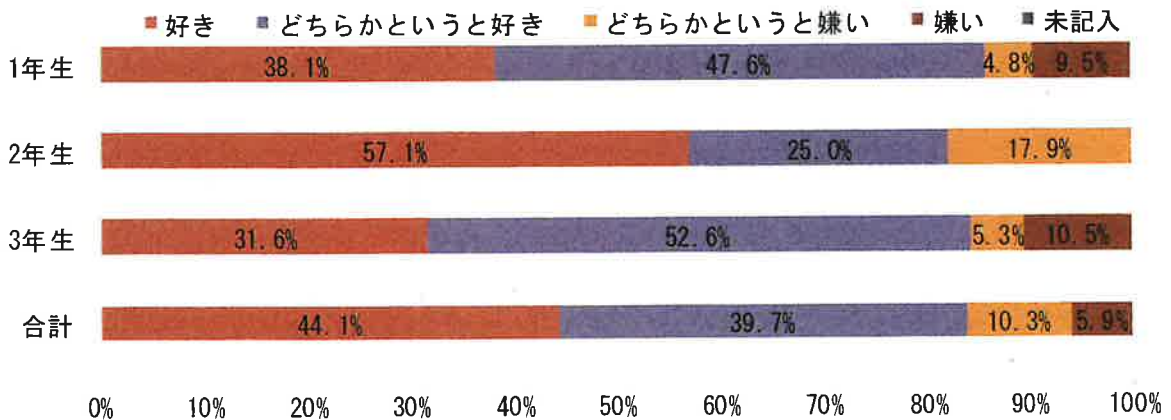
性別を教えてください



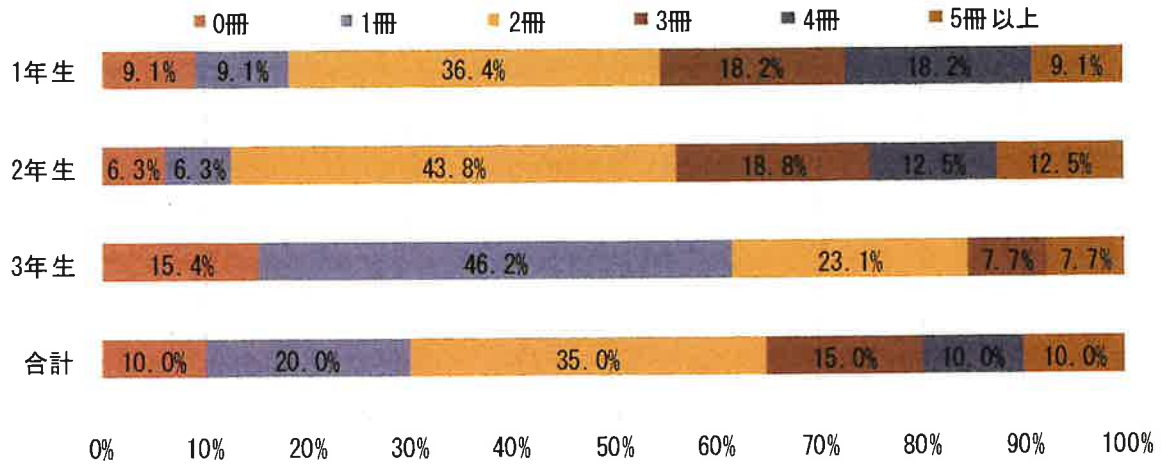
1. 本は好きですか



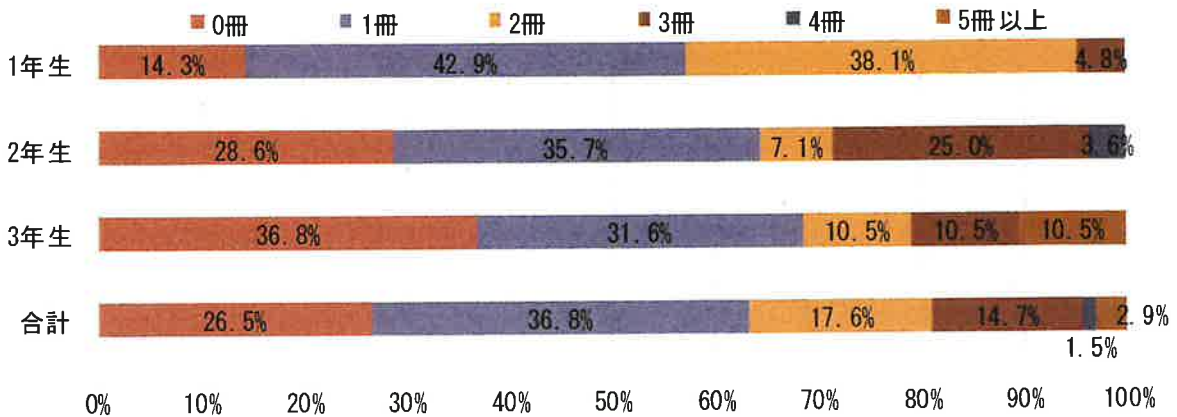
※平成29年1月実施アンケート結果



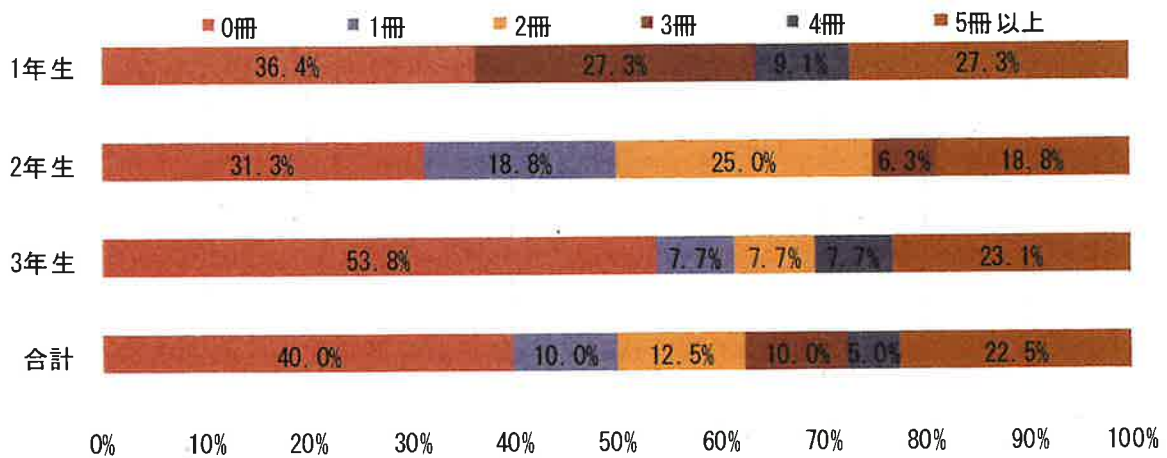
2. この一カ月に読んだ本の数を教えてください。(マンガと雑誌を除く。買ったもの、借りたものでもどちらでもいいです。)



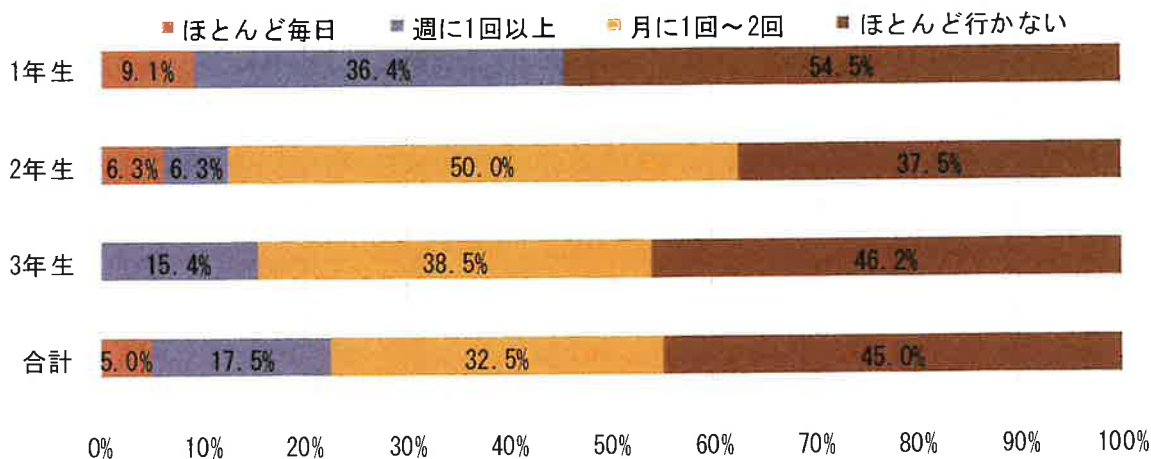
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



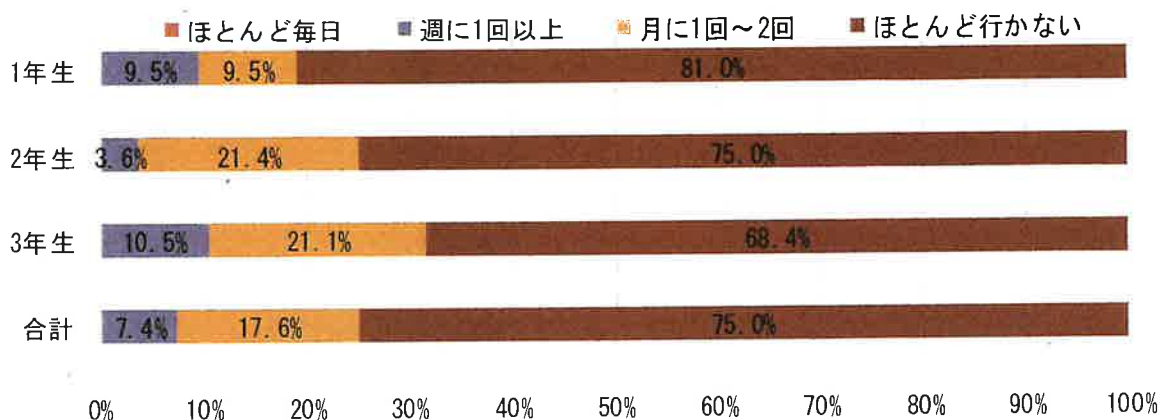
3. この一カ月で、読んだマンガや雑誌の数を教えてください。



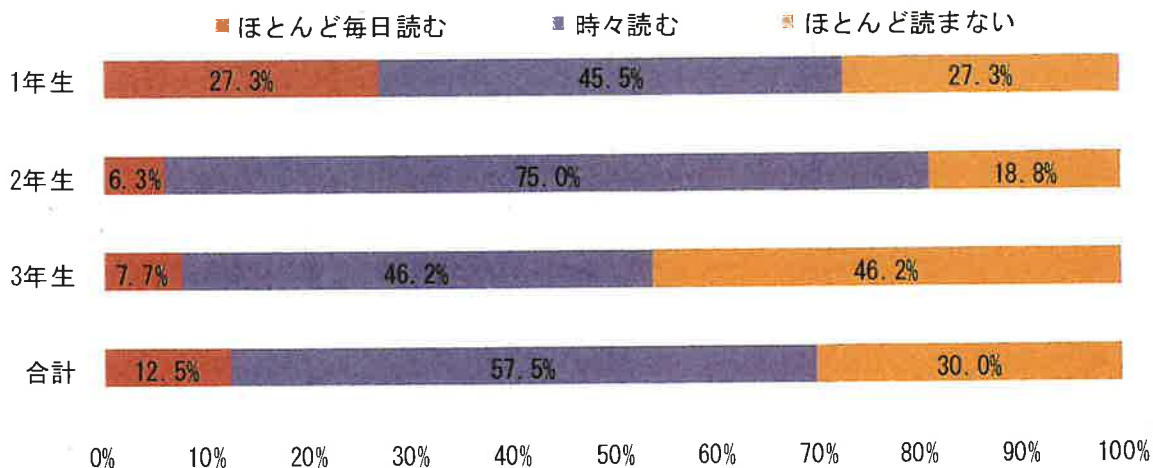
4. 学校の図書室を利用する頻度を教えてください。



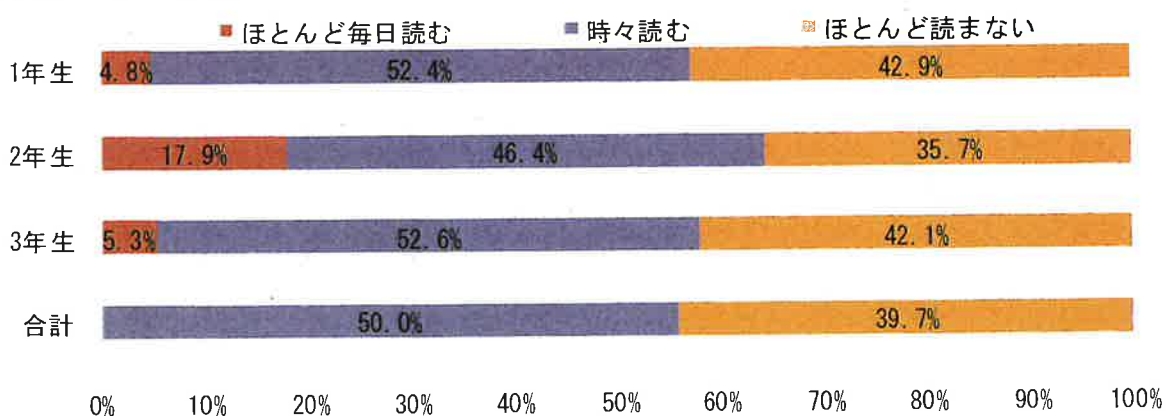
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



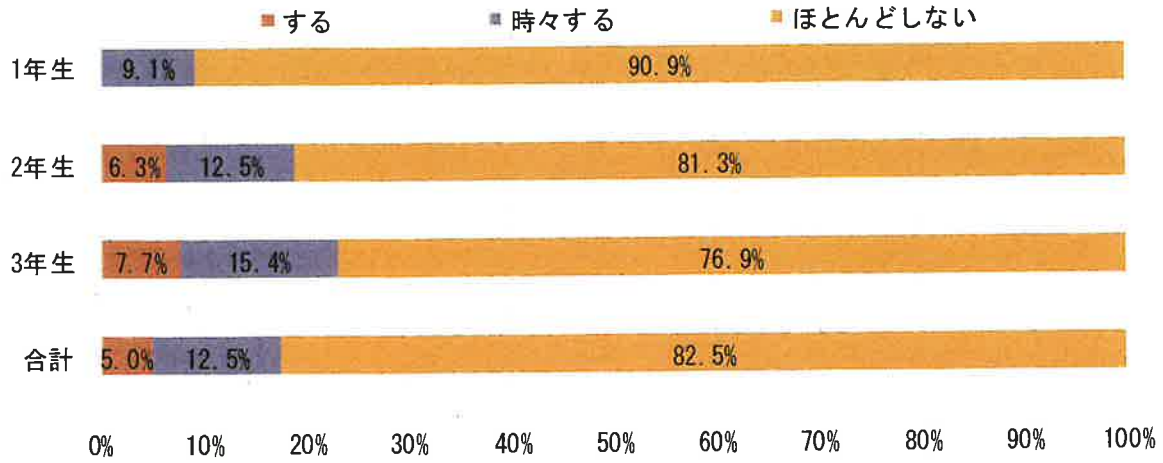
5. 家では本を読んでいますか。



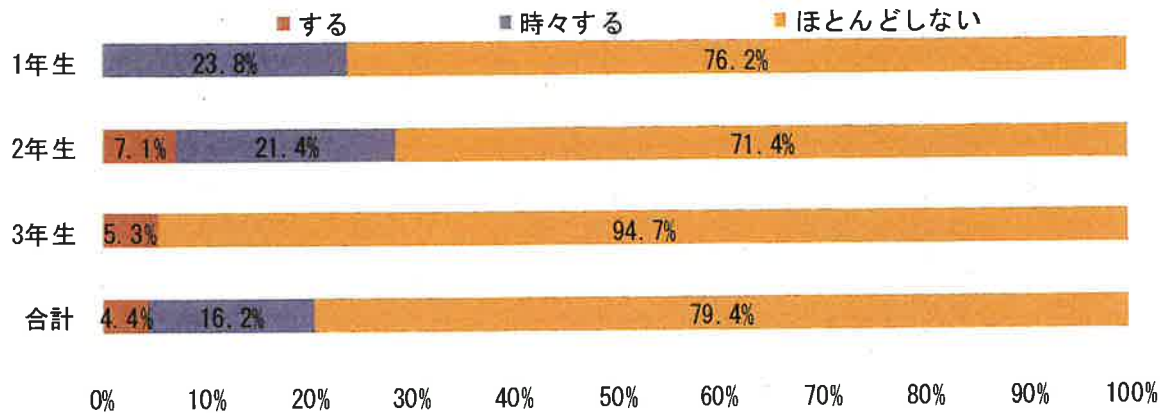
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



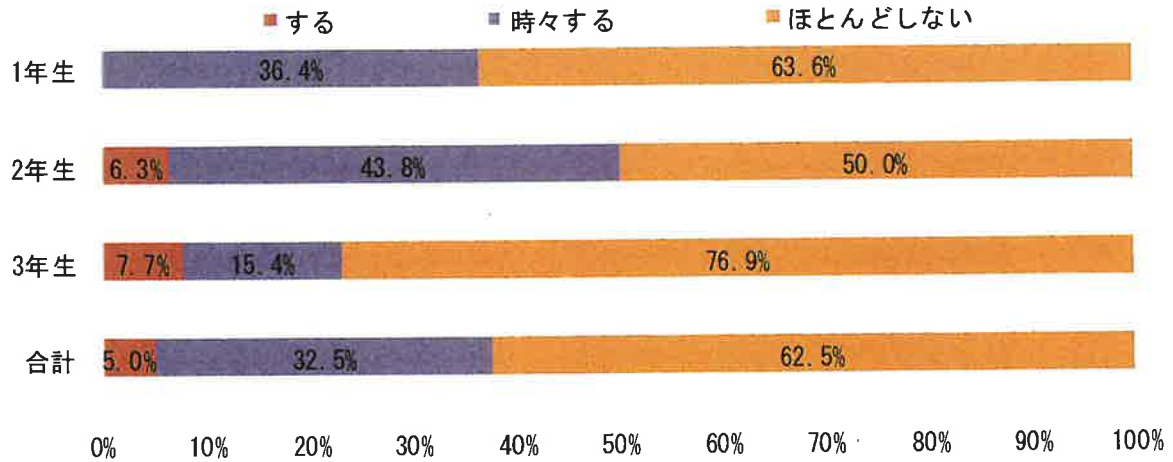
6. 家族と本の話をしてもらいますか。



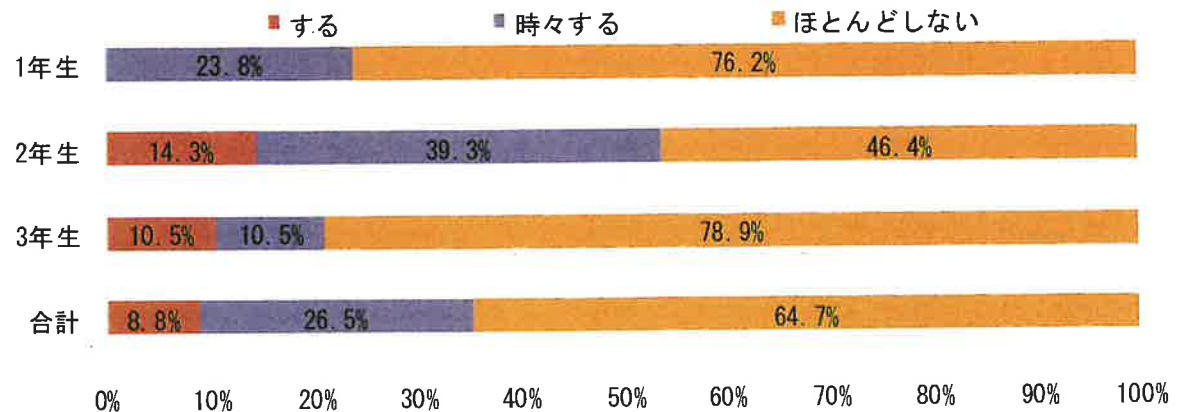
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



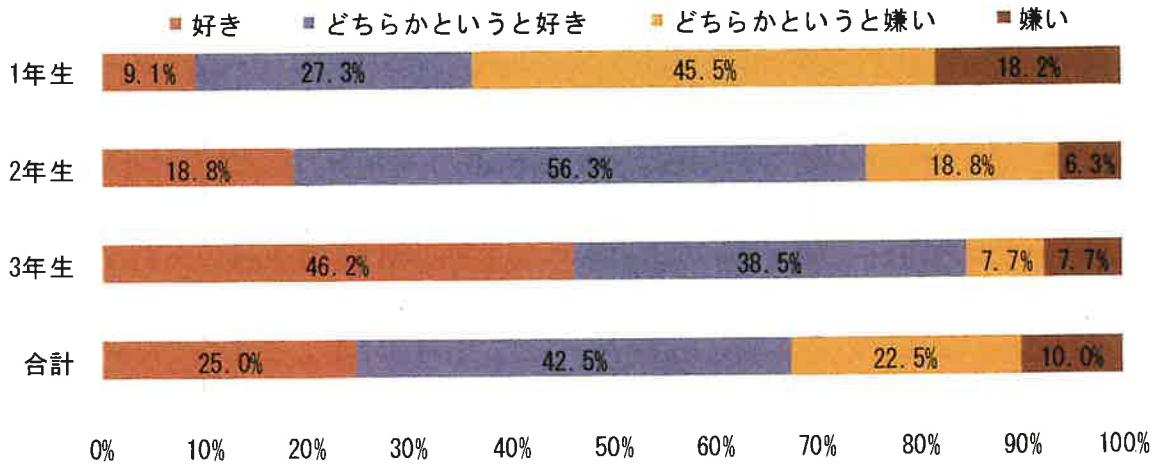
7. 友達と本の話をしてもらいますか。



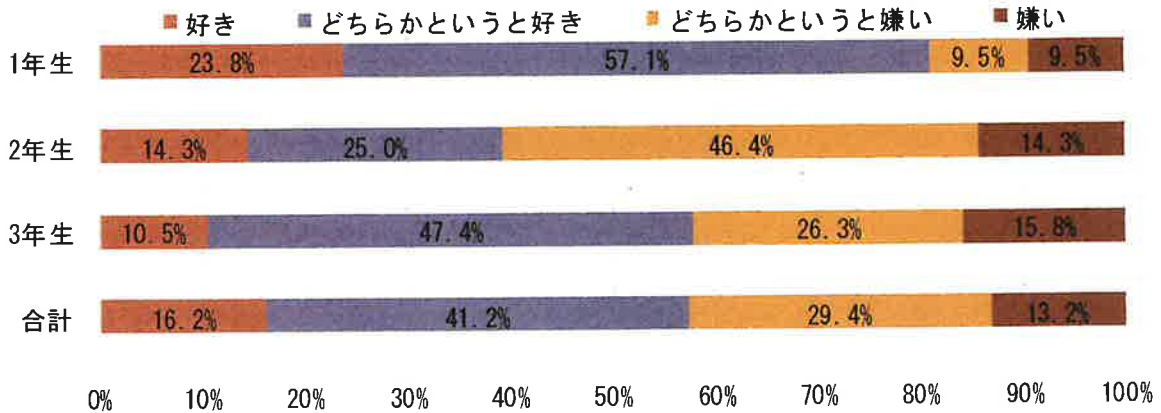
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



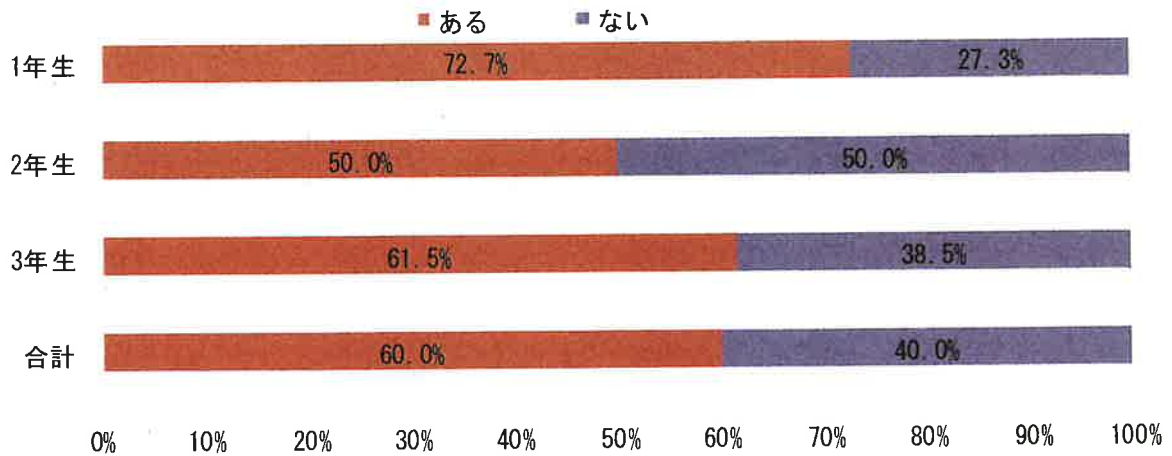
8. 読み聞かせを聞くことは好きですか。



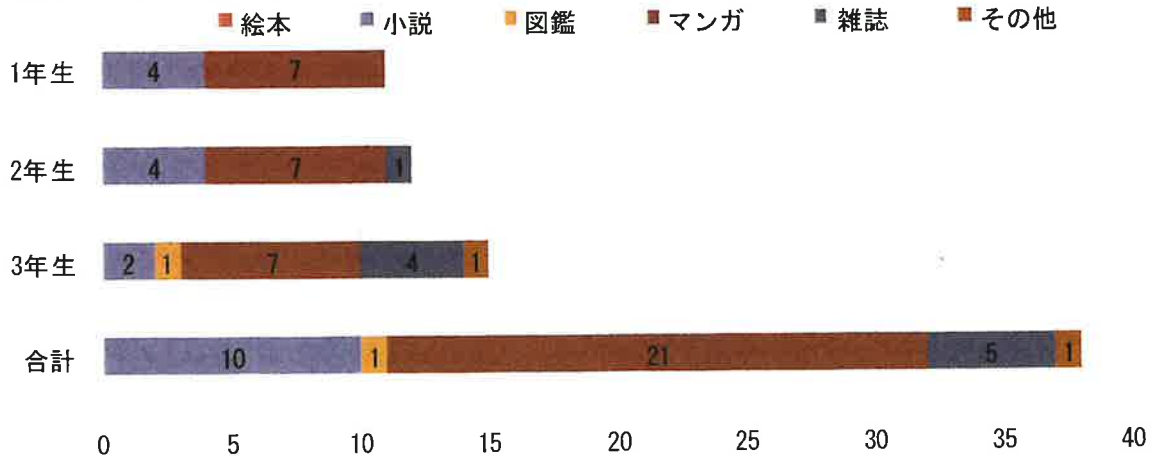
※平成 29 年 1 月実施アンケート結果



9. 電子書籍で本を読んだことはありますか。



→「ある」と答えた方にお聞きします。それはどんな本ですか。(いくつでも選んでいいです)



第二次金山町子ども読書活動推進計画

発行 令和4年3月 金山町教育委員会

〒999-5402

山形県最上郡金山町大字金山662-1

金山町中央公民館内

TEL 0233-52-2902

FAX 0233-52-2903

E-mail:shakyou@town.kaneyama.yamagata.jp